（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

京城日報

廿四日夕刊
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾五錢（郵送料前金）　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金參圓七拾錢
廣告料　▲特號活字一行金七拾錢▲普通活字一行金貳拾五錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

秋季皇靈祭宮中式典

二十三日は秋季皇靈祭當日に付宮中皇靈殿神殿に於ては御恒例に依り午前九時より兩御殿の御裝飾を行ひ九條掌典長以下各掌典出仕し大山、東鄕各大勳位、加藤海相外各國務大臣寺內、奥、井上、長谷川、川村各元帥其他高等官二等功二級、錦鷄間祗候の人々は何れも大禮服又は通常禮服にて參進し著床神樂歌奏と共に御開扉神饌幣物を具し掌典長恭しく祝詞を奏し終れば　天皇陛下には黄櫨染御袍の御束帶にて御笏を執らせられ伊藤式部次長波多野宮相の御先行にて出御諸員の起立敬禮中に御拜所に於て玉串を奉り御拜禮御告文を奏させ給ひ入御あらせられ次で皇后陛下は大森太夫の御先行にて出御玉串を奉り御拜禮終つて入御あらせられ次で前記參列諸員の拜禮あり右訖つて再び神樂歌奉奏裡に幣物、神饌を撤し各員退下せり猶當日各皇族同妃殿下には御觸穢二條恒子の方逝去後服喪中に付御參列なかりき（東京特電）

明年度豫算閣議決定

大正六年度豫算に關しては去る十九日の閣議に於て大藏省の削減したる各省の新要求費に對し主務大臣より之が復舊を要求したるを以て大藏省主計局にては之等の復活要求と歳入との關係を對照して再査定を加へ各省當局者と數度の交渉を重ねたる後各省の復要求費に對し大藏省と當局者との間に協定出來上りたるを以て二十二日閣議に於ては何等の議論なく大正六年度一般會計豫算陸海軍臨時事件費及び各省臨時事件豫備費豫算の編成を決定するを得たるが其の內容左の如し大藏省の査定に對し復活要求起りたる總額

經常部　三百四萬圓
臨時部　四百二十二萬圓
合計　七百二十六萬圓

なるが內大藏省が再調査を加へたる結果容認したるもの左の如く

經常部　百九十二萬圓
臨時部　百九十萬圓
合計　三百八十二萬圓

となれり然れば大正六年度一般會計歳出豫算概算總額は再査定の結果

經常部　四億一千七百卅九萬圓
臨時部　一億八千三萬圓
合計　五億九千七百四十二萬圓

となれり而して

▲減債基金問題

は政界の視聽を聳動する所なるが政府は明年度豫算に於て減債額を五千萬圓に增加し之を全部外債償還に充つる事に決し之に要すべき財源二千萬圓は內地市場に於ける公債募集に俟つの方針を採る事となれり而して之が實行に關し

▲武富藏相

は一般會計にて公債を發行すると鐵道會計に於て募集するとは單に形式上の問題に過ぎず其孰れの方法を採るも要は二十萬圓の新公債を募集し之を舊公債の償還に振向くるものなれば事實に於て兩者の間に何等の差異なしと語れり（東京特電）

閑院遣露宮殿下
露國野戰隊本營に向はせらる

閑院大將宮殿下の御一行は豫て發表せられたる御旅程を變更され廿二日午後一時三十分莫斯科驛に御著車約二時間御停車の後露國野戰隊本營所在地なるツアルソーヒーへ向はせられたり右の結果御一行のペトログラード御著車は來る二十七日頃となる可しと（東京特電）

▲ゲオルギー太公御出迎　ゲオルギー太公は本野大使と共に閑院宮殿下御出迎の爲め莫斯科に赴かせられたり

▲本野大使扈從　本野大使は宮殿下が野戰隊本營を御訪問遊ばさるゝ際扈從すべし（露都電報）

▲日露協會と大饗宴

閑院宮殿下は九月二十七日露都に御到著の筈にて日露協會總裁ココウゾフ氏は歡迎の爲め露都に歸れり九月三十日大饗宴を催すべしとの相談あり（露都電報）

米國同盟罷業の形勢

紐育の勞働者組合が同盟罷業を爲しつゝある地下、地上及び高架鐵道會社使用人の加入を拒絶したる爲め團結せる勞働者の代表者等は勞働者に對し九月二十七日午前八時を期し其の業務を中止すべき命令を發せり右の命令が勞働者に依りて服從せらるゝに於ては數千の工場、製造所は閉鎖せられ陸上交通及び港灣、船渠の作業は中止せらるゝに至るべし紐育市中は組合の首領に對し罷業に伴ふ混亂を豫防せんが爲め有らゆる手段を執るべき旨の警告を與へたり（紐育電報）

大借欵と獨逸側の質問
四國借欵團と日本借欵質問

獨逸銀行代表者は今回の大借欵が既に支那政府より公然銀行團に交渉ありしに拘はらず同銀行團より何等の通知に接せざるを以て支那政府に對して質問書を提出せり又四國借欵團は日本の五百萬元借欵の性質に關して財政部に質問せり（北京特電）

唐外交總長就任決せず

唐紹儀氏は天津に在り外交總長就任の件も決せず陳代理總長も亦交渉に當るを避くるより日支交渉も遷延を免れざる狀況也（北京特電）

ク島革軍の假政府組織

雅典來電＝クリート島にて革命勃發し革命軍は假政府を組織したりとの報あり（倫敦電報）

希臘の對獨交渉

希臘の對獨通牒は其の文章嚴厲にして飽迄カヴアラなる希臘守備隊司令官の行動を否認し件の守備隊をば引いて聯合軍に味方せしめざるべき希臘の保障の下に瑞西國境に送還して釋放せん事を要求せり（紐育電報）

希臘新內閣の未承認

雅典來電に曰く、希臘新內閣は未だ協商國の承認を受けず（倫敦電報）

塞軍山頂に勃軍を擊退す

サロニカよりの佛軍公報に曰く塞耳維軍はカルトマカレン山頂に於て勃牙利軍の猛烈なる逆襲數囘を擊退し敵に多大の損害を與へたり勃軍は數回の襲擊を行ひてベレスニカ村落に足掛を得たるも塞軍は總突擊を以て之を驅逐したり佛軍左翼軍はヒヨデルの西方五基米突なる一五五〇高地に達したり（倫敦電報）

露羅軍ドブリヂヤの大捷

ブカレスト來電＝公報に曰く、ドブルヂヤ方面にては重要なる戰鬪繼續し露羅聯合軍は全前線に亙りて敵の襲擊を悉く擊退し之に損害を與へ更に進んで數回の逆襲を行ひたり（倫敦電報）

獨勃土聯合軍を擊破す

露羅聯合軍はドブルヂヤに於て五日間に亙る戰鬪後獨勃土聯合軍を擊破し敵は南方に退却せり（紐育電報）

獨逸露軍擊攘を圖る

獨逸皇帝は目下コウエルの陣中に在り多分獨逸が露軍擊攘の擧に二週間にし開始せらるべしと（紐育電報）

土軍リガの前面に現る

獨軍將校に指揮せられ獨逸式に武裝せる土耳其軍リガの前線に現はれたり（露都電報）

夏季東部戰鬪の獨損害

當夏季の戰鬪に於て東部戰線に於ける獨軍の損害總數は八十萬と註せらる此の中半ば戰死又は負傷したるものなり（露都電報）

ソンム北方の獨軍逆襲
佛軍之を擊退して一切の陣地を保持す

巴里來電＝二十日夜發表の公報に曰く、ソンム北方に於て獨軍は其の失へる陣地を回復せんが爲非常なる努力を爲し戰鬪は午前九時より日暮に及べり此の間斷なく押し寄する敵の密集部隊は我が機關銃火大砲火の爲めに擊退せられ又時として我が銃劍の犧牲となれり佛軍は一切の陣地を保持す獨軍はブクーズ耕地よりアベウッド耕地の南に至る五基米突の戰線を攻擊し每回大砲猛射後密集隊形を以て突擊せり（紐育電報）

ヘーグ軍の成功

ヘーグ將軍二十一日午後發表公報に曰く、アンクルの南方に於て我軍は一哩の前線に亙りて進出しフレルとマルチンピチとの間に於ける獨軍塹壕二線を占領せり我が前線は今や殆んどフレルとマルチンピチ北方に直線に進みたり（倫敦電報）

獨艇の陸兵運送船擊沈
獨逸側の公報

獨逸公報に曰く、獨逸潛航艇は去る十七日地中海に於て陸兵を滿載せる敵國側運送船を擊沈せり（紐育電報）

得て敗退したり我が軍はフロリナの北方に於て敵の攻擊を擊退せり（倫敦電報）

敵軍擊退

巴里二十一日午後發表の公報に曰く敵はブリーズ畑地とランクールとの中間に於て激烈なる攻擊を行ひしも多大の損害を被りて擊退せられたり（倫敦電報）

英軍進擊

倫敦來電＝アンクレ河の南方にて英軍は一哩に亙る前線に進擊し敵の塹壕を占領したり（紐育來電）

勃軍敗退

サロニカ來電＝佛軍公報に曰く、ワルダルとセルナとの中間にあるズボルスコアに對して勃軍は優勢なる攻擊を爲したるも夥しき損害を

政務總監一行

▲永興郡巡覗　山縣政務總監以下宇佐美、池田、大塚各長官、秋山參事官三本理事等の一行は廿三日午前六時五十五分元山驛に著直ちに新開通線にて永興に向ひ同九時永興著郡廳、學校機業傳習所、畜產品評會等を巡覗したる後正午發列車にて二時元山に歸り官民多數の出迎を受け總監は府尹官舍に入れり（元山特電）

▲元山發歸京　山縣政務總監一行は二十四日午前九時四十五分元山發列車にて歸任の途に就けり（廿四日發元山特電）

立花師團長

立花第十九師團長は二十四日午前九時四十五分元山發列車にて歸任の途に就けり（元山特電）

風波と嘉義丸

二十三日大連より門司に入港の筈なる嘉義丸は風波の爲め二十四日入港すべし同船には關東都督府外事總長膩山長治郞氏乘船せり（門司特電）

笠原漢冶萍顧問

笠原漢冶萍顧問は廿三日八幡製鐵所を訪ひ同夜發列車にて東上の筈なり（門司特電）

總監一行歸著

山縣政務總監の一行は二十四日午後五時十分南大門著列車にて歸著す

押川長官視察

押川製鐵所長官一行は廿三日午後二時五十分沙里院に下車し出迎の西崎鶴太郞富田儀作中村精七郞氏等と共に自動車を驅りて載寧鐵山に向へり同地視察の上一泊廿四日水路鎭南浦に赴き同地の視察を遂げたる上廿五日水路兼二浦に引返し三菱製鐵所基礎工事を視察し同日午後急行列車にて滿洲に赴く筈

紅蔘製造開始

專賣課開城出張所にては管內人蔘特別耕作區內に於ける收納査定の施行と共に愈々紅蔘の製造に著手したり本年の製造豫定額は四萬餘斤にして之を前年の製造高に比すれば一萬斤の增加なり

龍山各町有志大會

龍山の地主及び京城在住者にして龍山に關係ある實業家の有志二十餘名は舊龍山和歌家に會合して協議の結果龍山將來の發展を期せんため約十箇條の提案を爲し改めて二十五日午後五時より舊龍山本願寺別院に於て新舊龍山各町總代有志大會を開き一同の贊成を求めたる上夫々關係官廳に交涉することゝなりたるが尙ほ最近問題となり居れる砲兵工廠立工場設置に關しては新舊龍山及び永登浦、鷺梁津等の各有志と協力して運動を行はんとするの內約もありし

定期航路變更認可

朝鮮郵船會社にて遞信局に申請中なりし十月一日以降明年三月一日に至る雄基門司甲線雄基門司乙線元山雄基線の定期發著日時變更の件は十八日附認可二十二日官報を以て發表されしが航路回數等の變更は既報の如き內容にて北鮮航路の增發なり

錦山道路實查

二十日來田せし澁谷忠南第一部長は山本道土木主任水谷、河合技手及び大田實業協會員並に全羅北道伊藤土木主任錦山學校組合管理者と共に二十二日午前七時出發錦山道路實地踏查に向へり因に澁谷第一部長は錦山にて廿四五日頃まで滯在し全北長官の來山を待ち協議の上再び來田の筈

仁川

▲芳賀院長視察　芳賀總督府醫院長は二十三日午後十時來仁朝日屋に投宿の上二十四日松元署長と共に府管內防疫狀態を視察し同日午後五時歸任せり▲貧民救助班增加　仁川府廳にては嚢に三班の貧民救助班を組織したるも一日三千人以上の救助に該らざる可らざるを以て活動上缺くにより更に一班を增加し晝夜兼行にて救助しつゝ有るが救助費は一箇月約一萬圓の豫算にて總監部傳染病豫防費より支出する者なりと▲隈部警務部長來仁　隈部本道警務部長は濱田警視を隨へ二十三日午前來仁防疫狀況視察の上二十四日午後九時半歸任したり▲汽船入港　天智丸は二十四日午前五時入港同日午後五時出港せり

大田

▲集合演習　大田步兵第七十九聯隊一箇大隊は二十一日來田大田座に宿泊後每日各科演習を執行しつゝあり十月一日終了の筈なり▲農學生來田　福岡縣農學校職員生徒六十八名內生徒二名大邱にて赤痢に罹り職員一名居殘り殘部六十五名二十三日午後五時來田二十四日午前六時裡里に向け出發せり▲麥實收高　大田郡に於ける本年麥實收高は在付反別總計二千五百五十一町二反にて大麥二萬四千九百四十五石小麥六千六百十九石なりしと

大邱

▲苹果賣行澁滯　大邱地方特產物たる苹果は近來虎疫流行の爲め賣行澁滯し釜山方面は殆んど移出皆無の姿なれど幸ひに南洋地方よりの注文ある爲め苹果界にさしたる打擊も齎らさず現狀を維持しつゝあり加ふるに今後の生產物は國光、大和錦の如く貯藏を要するものなれば是が恢復も遠きに非らざる可しと▲服部警務部長巡視　服部慶北警務部長は醴泉地方巡視の爲め十七日間の豫定にて二十三日より出張▲赤井檢事正出發　淸州地方法院檢事正に榮轉せし前大邱地方法院檢事赤井定發氏は廿六日午後一時二十三分の北急行にて出發

人事消息

▲寺村民蔵氏（大阪貿易商）　二十二日夜入京天眞樓へ
▲松元千代助氏（難波銀行大阪支店長）　同上
▲奥田理一氏（鐵物商）　同上
▲林茂太郞氏（大倉組株式會社員）　二十三日朝入京天眞樓へ
▲植松逆太郞氏（九州日の出新聞主筆）　二十三日朝入京不知火へ
▲阿部議氏（鮮銀哈爾賓支店長）　同上
▲市川豐治氏（釜山稅關鑑定官）　二十四日朝入京不知火へ
▲曾田勇氏（司稅局廣梁灣出張所長）　二十三日夜入京浦尾へ
▲押川製鐵所長官外三名　入京中の處二十三日朝退京
▲中村精七郞氏（中村組社長）　同上
▲中村安太郞氏（長崎中學校長）　入京中の處二十二日夜退京
▲熊本縣農業團一行　同上

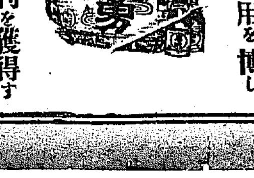
公告
至急看護婦ヲ募集ス希望者ハ履歴書携帶順化院ニ出頭セラルベシ
大正五年九月　京城府

尺八樂譜解說（一部廿錢郵稅二錢）
琴古流　尺八樂譜　自修希望者は要郵稅二錢
東京小石川區大和町　尺八教授　水野呂童

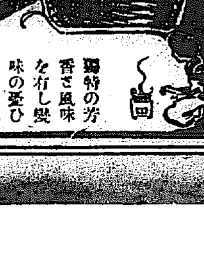
特許 最新 うどん そうめん そば 製麵機械
博覽會共進會名譽金銀賞牌各種受領
專製　賣特　許機　麵

○陳列場には各種麵機多數陳列せり
○說明書御望みの方郵券二錢要す
元祖　眞崎廣麵機店　東京市淺草區東仲町二十番地　電話下谷〔長〕五二〇九　〔振替〕東京一二三五、七五三一

溫泉旅館　京元線・釋王寺溫泉場　鶴松園　今や松茸狩の好季節

品質の優秀は
酒　醇

最後の勝利を獲得す
絕對の信用を博し
宮內省御用酒　醸造元　攝津灘新庄家　若林合名會社
特約店　京城本町三丁目　山本富之助商店　電話五七五番

小資本にて金儲け現る
新案登錄器械にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械（五十臺限り書割引）委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町　振替東京一六六八八　大澤商會

宮內省御用達　最上醬油元祖　（開業二百七十二年）　銚子　濱口吟醸

ヤマサ醬油
獨特の芳香と風味を有し變味の憂ひなきは此醬油の特色なり
各所の酒、醬油店にて販賣す

●希くば、以て惡疫の剿滅に資せん

本社主催防疫巡回大講演

惡疫虎列拉は南朝鮮の大半を冒したる勢ひを以て、遂ひに我が京城にまでその毒手を延ばして來ました、然かも玆に考へて見ますと一口に虎列拉と言ひますけれども總べての公共の機關があらゆる力を傾けて防遏に當ると共に各個人が周到なる注意を日常衛生に拂つて居れば單り虎列拉のみに限らず如何なる惡疫と雖も吾々の身體に侵入して來る事は絶對に出來ないのであります惡疫流行の際に於ける個人衛生は何より自己に必要であると同時に延いては社會公衆に及ぼす効果も少なくないのです、京城に虎疫の發生以來官憲當局者は殆んど全力を盡して防疫を策し、隔離、遮斷、消毒、注射、衛生講話其の他種々なる方法を以て實行に當つては居りますが、更に官憲と相呼應じて防疫上に微力を致すべく、今回本社が卒先して、二十五日を期し防疫大講演會を開催し自動車四臺を二隊に分ち京龍市中五十餘箇所に巡回講演を爲す事に致しました

然かしながら玆に注意して戴きたい事は市民諸氏が虎疫襲來の聲の大なるに譯も無き恐怖心を生じ日常生活に當り消極的方面にのみ意を注ぎ萎縮して終ひたくない事であります

古語に「耳に怯にして目に勇なれ」

といふ事がありますが敵が既に吾が眼前に迫つて來た以上は進んで之れを驅逐するの勇氣が無くてはなりませぬ本社が今回此の擧を企て防疫の警鐘を亂打しやうとするのも畢竟此の意味に外ならぬのであります、秋冷益々加はるに隨がつて猩紅熱、腸窒扶斯、實扶的利亞等の流行病が發生して市民を苦しめるのは例年の事でありますが今回先づ當面の大敵たる虎疫に對して自衛の備へを作すと同時に併せて

各種の傳染病に對して自衛驅逐

の道を執るのは共同生活を營む人生に取つて最も緊要の事であらうと思ひます

▲講演と同時に印刷物を配付

市中巡回防疫講演會は二十五日午前九時より午後五時まで自動車四臺を二隊に別けて樂隊を先頭とし警官醫師各一名社員三名の搭乘し本町、鍾路兩署の管區、龍山憲兵分隊の管區を巡回して衛生講話を爲す一方虎疫豫防の印刷物を配布する事になつて居ります

■本町署管內

本町署管內の分は午前午後の二回左記の道筋順序で巡回します

▼午前 本社前より黄金町を經て▲永樂町、黄金町四ツ角、黄金遊園前にて講演▲黄金町、總督府醫院通へ出で▲船橋町角にて講演▲此處より後戻り光熈町通を南に入り新町にて講演▲本町通りを後戻りして本町四丁目電車終點、本町三丁目永樂町角にて講演▲永樂町黄金町、明治町を經て▲明治町角にて講演(以上午前自九時至正午)

▼午後 本社前より長谷川町通りを經て▲朝鮮銀行、南大門にて講演▲南大門通り義州通りを經て▲鐵道踏切下の四辻にて講演義州通り蓬萊町を經て▲蓬萊町派出所前にて講演へ蓬萊町より同南大門驛前に出で此處に講演▲此處より古市町角にて▲岡崎町を靑葉町に出で同二丁目角にて講演▲靑葉町より元町一丁目角にて講演▲漢江通より三角道路に出で同所、鐵道官舍電車終點にて講演▲驛横より龍山に到り榮町角、本願寺下にて講演▲それより麻浦に到りて市場にて講演(以上午後自一時至五時)

■鍾路署管內

鍾路署管內の講演場所は

▼午前 一、橋南洞、石橋派出所前廣場、二、竹添町二丁目派出所横四ツ角、三、西大門內興化門前(中學校裏門前)、四、唐珠洞通中間夜珠峴より東に入る、五、宗橋派出所北手(社稷洞通中間)、六、柴橋派出所午前四ツ角、七、明月館前廣場、八、主馬課前、九、鍾路四ツ角、十、パコダ公園前、十一、寛勳洞(李堈公邸前)

▼午後 一、安國洞(別宮門前)二、慶雲洞(李埈公邸前)三、敦化門通中間 四、鍾路三丁目五、苑南洞通中間(益橋附近)六、觀旗橋四ツ角 七、孝悌洞八、東大門九、東廟

面して本町署管內の第一班は午前は櫻井町池上醫院長池上要吉氏、午後は旭町島崎病院長島崎龍一氏鍾路署管內の第二班は午前が弘仁堂醫院長 朴宗植氏午後は德濟病院長元悳常氏自動車に搭乘講演の勞を執られ各班は午前九時より同時に各受持部面に申出ます

▲別働人力車隊の編成

尚自動車講演隊が各所に講演會を催しつゝある豫防注意の印刷物を配付するのに相策應して人力車隊を編成した左記の順序によつて自動車隊の往く事の出來ない市中の各小路に到り各戶に注意書を配布します

一、旭町一丁目以南吉野町迄(南米町に及ぶ)二、旭町二丁目以北永樂町通日出町以南、三、永樂町通、日出町以東光熈町二丁目電車終點に至る、四、西大門外一帶五、夜珠峴通より北、清雲洞に至る、六、光化門以東仁寺洞通まで七、仁寺洞以東鍾路四丁目四ツ角以西、八、鍾路四丁目以東東廟に至る

●東京大阪間を一氣に飛行

岸博士新研究の飛行機=宙返飛行

飛行機研究に熱中してゐる岸醫學博士は更に百馬力及び百五十馬力の發動機に單複沖葉三臺の飛行機製作に着手して居るが此うちに小型の飛行機一臺は宙返りに充つる爲めで

▲十月中には竣工し井上中尉をして宙返り飛行の先驅者たらしむる豫定である他の二臺の飛行機は博士の考案になつたまだ飛行界に出現せぬ特殊の單葉機で飛行中に於て操縱者が容易に進行の緩急を自由ならしむる方法になつてゐる即ち出發の際は翼のカーブを強くして緩に飛行するが爆彈投下又は家屋擊破の如き任務を終つて敵の猛射を避けつゝ

▲著彈距離以外に逃走する場合などはカーブを少くして速力を增加するといふ裝置が施されてある操縱者としては幾分か複雑な點もあらうが之は戰鬪用飛行機の理想として期待される所である之等の飛行機が竣成の上は東京大阪間を途中著陸なしに一直線に飛行する計畫があり又三臺若くは四臺の飛行機を以て一般交通用の機關として試用したいと云ふ案もあるそうで目下製作してゐる百五十馬力の發動機が竣工すれば

▲大阪まで五時間で到著するので銀行會社の諸取引の機關として途中靜岡名古屋などの都會にも寄航し又一機を大阪から飛行せしめ其中間に於て東京より飛行し來るものと携帶品の交換をするもよく之は是非試みる考へだとの事である

●麻浦渡船場にて兇賊と格鬪

京城地方法院留置場消毒中に逃走

鹿兒島縣生れ前科三犯宮園堅一(三七)は九月八日永登浦分監を出獄したるばかりなるに又々惡事を働き二十二日京城地方院檢事局にて取調べを受け午後四時頃刑事被告人留置場に留め置かれたる折柄京城府虎疫の兆候あるを以て同留置場をも消毒し外七名の被告と共に三名の警官看視中二名の警官は用事の爲め檢事廷に赴きたる隙を見て殘り一名及び巡査を突倒して逃走したるより急報に接し鍾路警察署にては即時嚴重手配をなし直ちに同人の行衛を追跡したるが同警察署龍朝根巡査派出所勤務李炳夏巡査補は遂に麻浦渡船場にて堅一を發見して誰何したるに不敵なる同人は穿きゐたる足駄を脱ぎて打つて蒐り激しく抵抗して縛に就かず逃走せんとするより一方は逃さじと堅一の襟元を引つ摑みて獅咬みつきたれば堅一は下駄又は小石にて李巡査補の腦天を叩き割り其他顏面兩手にも負傷せしめ鮮血淋漓たるも屈せず遂に附近人民の應援を得て約三十分間格鬪の後組み伏せて逮捕することを得たり

●蠅の買上一合十錢

十圓の懸賞つき

仁川警察署にては二十四日より蠅買上を開始したるが買上價格は一合十錢にて尙奬勵法として一合毎に抽籤券一枚を交付す可く懸賞は五十錢以上十圓迄なりと

●大阪は千五百名

大阪府に於ける虎列拉は市郡を通じ一千五百餘名に及び東區今橋二丁目高砂生命保險會社支店長保佐山靜衛氏の妻みね(三五)及び二男富士雄(五)も亦虎列拉に罹れり(大阪特電)

●京城新患者

▲本町四丁目 京城本町四丁目十四番地佐々木いし(三)は姙娠九箇月なるが二十三日午前衣類裁縫中に突然發病し激しき吐瀉をなし同時に宮地警察醫診察したるが同夜遂に死亡採便檢鏡の結果二十四日疑似と確定し本町警察署にては同日直ちに患者を大消毒の上附近を隔離し同時に交通遮斷をなし隔離者に健康診斷をなせり

▲黄金町三丁目 同黄金町三丁目二百四十一番地瀧口順二妻瀧口のみ(三)は二十三日午後十一時吐瀉病にて高井醫師の診察をうけ疑しき點あるを以て本町警察署にては採便の上檢鏡に附したる結果二十四日午前十時疑似と決定し本町署衛生班出張し直ちに順化院に收容したる上患家其他の大消毒、隔離、健康診斷、交通遮斷を施行せり

▲南大門通り 高陽郡龍江面倉村里二十八統八戶閔丙憲(一)は二十三日夕刻吐瀉したるより入京南大門通りセブランス病院にて診察を受けたるが注意患者として取扱ひ中

●門司遊廓に虎列拉患者

門司市馬場遊廓にては二十三日午後二名の虎列拉患者發生したるを以て一部分の交通遮斷を行ひたり(門司特電)

●下關魚市場に十名發生

下關にては二十三日魚市場其他に於て十名の虎列拉患者發生し初發以來四十五名となり門司市も亦四十三名に達せり(門司特電)

●天候恢復未し

仁川觀測所員の談に依れば琉球南方より襲來せる颱風は除々北進し二十四日朝支那東海の北部に達し中心示度七百四十五ミリを示せり此れが爲め廿三日來朝鮮海峽並に南部は風雨を催せるが該颱風は益々北進し黄海に進入せんとするを以て二十四日中は槪ね北風強く中部以南に降雨を催すべく且つ天候恢復は緩漫なる可き見込なり

●三千浦沖で坐礁

十九日慶南三千浦港外に停船を命ぜられたる朝郵會社就航船慶寶丸は十七日午後釜山を出帆し木浦に向ふ途中十八日午前三時五十五分三千浦港口大野山附近にて航路を誤り暗礁に乘り上げたるより直ちに船客四十七名、貨物六十一個並に貨物全部を三千浦に陸揚げしたるが同日午前九時三十分に至り潮流の加減其の他の爲め自力にて離礁し船體は何等異狀なき爲め續航して木浦に入港したりと(釜山)

●仁川に火葬場急造

仁川にては虎疫の猖獗と共に同患者の死亡者續出し從來の火葬場にては間に合はざるを以て仁川花平里に火葬場を急造する事に決し目下工事を急ぎつゝあり

●巨猪を射殺す

郡守指揮官として出馬

慶南梁山郡梁山にては近來夜間害獸村落を襲ひ被害頻々たるより去る十八日郡守指揮の下に射手六人鮮人勢子二十餘名を隨へ朝來各山を狩立てしに果然正午頃に至り犢大の大猪牙を鳴して顯はれしかば射手は銃口揃へて一齊射擊を行ひ美事射止めしを見れば重量確かに三十貫を下らず一同凱歌を奏して日沒頃歸途に就く

●連絡船の缺航

二十三日夜到著すべき壹岐丸は下關を出帆せしも天候險惡風浪高きため中途より引かへせり同日壹便は缺航す(釜山)

コレラ彙報

▲慶北の警戒 慶北警務部にては頃日浦項、甘浦に下痢患者ありしも幸に陰性にして未だ眞正虎疫の襲來なきを以て東海岸の警戒を一層嚴にし流行地たる釜山、方魚津方面より入港する船舶は一定期間の停留を命じて檢疫を行ひ九龍浦、甘浦、浦項、江口の道港は十二分の警戒を爲しつゝあり(大邱)

▲市內醫師召集 京畿道警務部にては二十四日午後七時より京城居住の醫師內地人七十二名、朝鮮人十八名、外國人六名を京城ホテルに召集し虎疫豫防に關する相談會を開きたり

▲清州の防疫 [illegible]

▲漁撈禁止 群山港內及び同港外二洲並びに全羅北道海岸より二洲以內の水域內に於ける漁撈游泳及び水の使用は當分絶對に之れを禁ずる旨全羅北道警務部告示を以て示達されたり(群山特電)

▲對馬 [illegible](門司)

▲仁川各學校休校 仁川普通學校及び高等女學校が危險區域に入りたる爲め休校したる事は既報の通りなるが寺町も虎疫の襲ふ處となりたるを以て尋常高等小學校も廿一日より休校する事に決したるが內里の鮮人商業學校も廿一日より休校せり

▲平壤と列車 平壤警察署に於ては二十三日より一日三回即ち釜山發の最大急行列車及び急行列車及び京城發列車通過の際黄州平壤間に巡査一名を派遣して一般乘客の健康狀態を視察せしめ其の出發先及び旅行先を調査し停車場改札口に警察囑託醫師一名及び停車場取締巡査を置き傍診檢疫を行ひつゝあり(平壤)

▲京城市中の警戒區域

京城本町警察署にては櫻井町一、二丁目、若草町、黄金町三、四丁目、本町三、四丁目、及び舟橋町の各町を警戒區域と認定し櫻井町に虎列拉患者發生以來毎日非番巡査全員を以て檢病的戶口調査を勵行し居れるが既に赤痢、猩紅熱、腸窒扶斯等の患者八名、其他吐瀉患者二名を發見したるが何れも虎疫の疑ひなかりし

▲豫防費寄附 仁川に於ける虎疫豫防費として左の諸氏より寄附申出でたり [illegible]

▲繫留船で吐瀉 [illegible]

▲仁川で感染 江華郡良道面道岩里六統二戶李錠儀は十日間仁川に滯在し二十日歸宅し二十一日午後一時より吐瀉して同七時遂に死亡し檢診の結果疑似と判明

▲應援巡査入京 京城にも虎疫の兆候あり防疫應援として忠淸南道より二十三日應援として巡査部長以下十二名本町署に來著せり

▲仁川百九十七

二十四日午後一時十五分仁川警察署より警務部への報告に依れば仁川にては牛角里七、龍岡町內地人男一、花町一、新花水里一、寺町一、松峴里一、富川郡多朱面富平里八、同面下里一、西串面佳佐里二、浦里一の二十八名新たに發生し仁川署管內にて以上累計百九十七名に達せり

▲市內便所の檢查

本町署にては二十四日非番巡查全部を召集し危險區域初め各町に亘り便所の有無を取調べ修繕すべきは之を命じ不完全にして下水溝に漏出する等の恐れあるものは直ちに改善すべき様督勵し居れり

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

△一口噺

▲伊勢屋の主人コレラ蔓延の新聞を見て店の者に向ひ「ドウダ流行が來ちや魚を食はれぬ事がわかつたら」 義州 松月生

▲お三、つまみ食を見られて曰く『奥さんコレラ菌が居るかと思つて毒見致しました』 龍山 岡本小草子

▲甲『仁川にもコレラが輸入したとさ』乙『貿易(防疫)で目が廻るだらう』 龍山 松本玄海

▲讀者『魚はコレラ菌を含んでも平氣だとよ』太『そりや豫防注射がしてあるんだらう』 京城 神崎生

▲甲『虎列拉は釜山に來たから安心して居たら仁川へ來た』乙『そーよ虎は一夜にして千里を走ると云ふからね』 龍山 山本生

圏一等なし

●連絡船上陸客 九月廿二日 朝入港高麗丸にて釜山上陸客百三十[illegible]
次郎、末岡正大、伊藤時次郎(三等客百名)
九月廿三日夜釜山入港新羅丸にて上陸客一等七名[illegible]二十七名三等百三十[illegible]
安江安四郎、島田庄助、同輝子
九月廿三日朝入港さくら丸にて上陸 谷有孚、島田四一郎、大島君一、衛藤秀吉、太田こう、同たきゑ、同勉、同るみ子、前田文之助、山村吉一、中村喜太郎、桃山孝一、井上宗四郎、山口富夫[illegible]
[illegible]

●課題募集規程
●募集規程 ▲用紙枚端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一[illegible]

天氣 くもり
▲九月廿五日 曇り後少雨晴れ

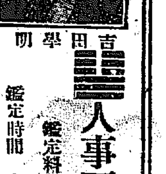
金牌受領 髮を黑く長くつやを出しさらさらとして髮の脫けを防ぐ事妙 本椿香油

う き よ
近頃頻りに傳ふる奇怪の出來事は果して眞か記者はそれを說明せんが爲めに先づ
底なし井戸こ化物 屋敷に一夜を明かし
四十月號出 卷に記者結束し闇夜に乘じ四の如き刑場跡に一夜を明かす 境地にあらしめ慄然として讀者の魂を奪ふが如く絶怪絶の記事は恰も其
定價 送料共三十錢 半年一圓七十五錢 東京京橋 振替二三七四九番 樂文社

齒科診療 仁川山手町穴門通 東京齒科醫學士 飯塚喜四郎 電話三五〇番

ヒシ印ミルク
◎我が政府奬勵製品◎製品は常に新しくて非常によい
◎人體の榮養と一家の經濟に將た國産奬勵の上から是非共お子達には此ヒシ印ミルクに遊ばせ
▼全國到る處の藥店洋酒罐詰食料品店にて販賣す▲

牛乳製品
牛乳浴を召さる皆様に 皮膚を美しくする日本に初めて出來た ニウソ石鹸と ニウソ洗粉へ
▲各地化粧品店、茶店にて販賣致候 ▲市內は電話御通知次第日々直配達も仕候 ▲說明書は御申込に依り何時にても送呈仕候
製造元 東京麹町 阪川牛乳店
朝鮮特約店 東亞牧場 京城蓬萊町四 電話二五二番



京城本町三丁目
吉田學明
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
大日本陰陽學會朝鮮支部

◉婦人方の乗馬の稽古

△一箇月でかなりに騎れる

◇京城の乗馬趣味は近來なか〳〵盛んになつた、以前からあつた乗馬倶樂部の會員には立花古海兩中將、小松、關屋、大藤、村田氏を始めとし總督府や警務總監部の人々が多かつたが近來は又黄金町の練習所會員が非常に增ゑた

◇此の連中には朝鮮銀行の人々を始め李王職々員、實業家、會社員、學校生徒等約五十名以上に上り昨今はまた婦人小供の馬騎りが四五名も出來た

◇就中土地調査局の富谷氏夫人は「これから秋のお日和には郊外の遠騎りも面白うございます……」

◇昨今黄金町五丁目の野村練習所ではこれ等の馬好きが毎日のやうにお馬ドウ〳〵のお稽古振り中には三度の御飯よりも馬が大事な人々もあつて練習所の秋は馬の稽古に賑はしい

毎日御夫婦伴れの御稽古で昨今なか〳〵の御上達續いて東原氏も婦人として巧みな方である

◇婦人の乗馬は以前は横騎りが流行つたものだが今は何れも男同様に騎るのが普通で外國婦人の乗馬仲間でも四十歳以上の人でなければ昔し流の横騎をやる者はない

◇坊ちやん連では鮮銀の中村技師の令息、鈴木局長の令息、荒井長官の令息などが錚々たるもの、小供は身體が柔かな上に重心が一段するから存外に大人よりも上達が早いとの事

◉秋の草花

△大輪の菊が咲きました

頃日の花はダーリヤが最も美しい、あの紅、白、黄等色とり〴〵の西洋趣味な花の色は淋しい秋にふさはしからぬ濃艶な風情を有つて居ります、夏菊も亦このごろが盛りとなりました、秋菊もぼつ〳〵咲きそめました、あの美しい葉の色と純白を誇る大輪の眺めなど實に秋の草花の尤なるものと思はれます、大輪の菊に次で可愛らしきは野趣ある野菊の一本と嫁菜の花も面白く、それに黄色なきりん草も咲きました

◉記念會堂定礎式

京城　美

朝鮮基督教會に於ける大典記念のため建築の計畫あり約八千圓の建築費を投じ中村工學士設計の下に朝鮮に於ける内地人教會堂としては模範的の設備を行はんとし既に工事工程を進捗せしめたるが二十三日午後三時より盛なる定礎式を行へり當日は藤岡牧師司式の下に五十餘名の教會員式場に列しスミス部長の祝辭、稲井氏の勸話、會田氏の教令略誌、山口氏の禮文朗讀等ありソープル氏の祝禱を以て式を閉ぢ散會したり同會堂は十月下旬迄に落成す可きものにして特に完全なる日曜學校の教室が地下室に設けられたるは朝鮮に於ける會堂建築の一進歩とも云ふ可き點なり

お休日記

△お花を買つた　龍山元町小學校尋四　米澤富美子

○七月二十八日（金）晴　朝早く起きてお母さんのお手つだひをした。それをすまして机にむかつたらお父うさんが「花を買ひに行く」とおつしやつたから、つれていつていただいた。きれいな花ばかりで、みなほしかつたが四色だけにした歸つて見ると清子さんと友子さんが來てゐたから、三人で遊んだ。清子さんが私の大切にしまつてゐた紅箱を出したり、大事な本をやぶつたりしたが、おこらないでゐた。

△大好きな圖畫　龍山元町小學校尋五　松永きみ子

○七月二十八日（金）朝の中から氣持のよい天氣。暑い中にも涼しい風がそよ〳〵と吹く。午前中讀方と、理科を復習した。午後好きな圖畫を練習した。鉄砲と朝顔を畫いたがよく出來なかつた。もう一つふん發せねばならぬと考へた。午後蓄物が出來あがつたのでうれしかつた。

△旅行日記　龍山元町小學校尋六　中島光之助

○八月四日　御殿場で眼がさめた。美しい富士の姿は雨の爲めに見えない。大磯の附近には立派な家が澤山あつた。箱根もすぎて國府津へ着いた。こゝは東海道線とわかれる所で私達は汽車を乗りかへて、プラツトホームの洗面所で眠氣を洗ひ去つた。鎌倉や、江の島には澤山の海水浴場があつて澤山の人が面白く泳いでゐた。江の島の稚子が淵は數十丈もある絶壁で、下は大浪がうずを巻いてゐる。のぞいて見るとおそろしかつた。かたわらにさゞえのつぼやきを賣つてゐた。お父さんにいただいたら大變うまかつた。鎌倉には頼朝が幕府を開いた跡が、まだのこつてゐる。實朝が殺されたといふ所もある。英雄の墓はこけが蒸してゐる。護良親王がおかくれになつた所へ行くと宮のおなんぎせられたことを考へてかなしくなつた。午後四時横須賀へ行つて三浦館にとまつた。

△玄界灘の朝　元町小學校高一　榛葉登

○八月二十四日（月）昨夜釜山を出た高麗丸は今や内地に近づきつゝある。甲板に出ると涼しい朝風は輕く頬をなでゝ空を仰げば一點の雲もない。はるかの前方には翠綠滴るばかりの中國九州の山々が連り、恰も自分を歡迎してゐるやうである。僕は下關につくまで甲板に立つてゐた。船は汽笛と共に棧橋に横付された。われ〳〵は小蒸汽で門司に渡り、汽車で福岡についた。夜は方々を見物して疲れた體を叔父さんの家の床の上に横へた。

△朝早く起きて　元町小學校高一　高橋通

○七月廿一日（金）隣の雞の聲に目がさめた。外に出て深呼吸をすると何ともいはれぬよい氣持であつた。七時より樣々の復習をした。今朝は小雨が降つたので寫生にも行かれなかつたが、午後は幸ひ雨がやんだので、家の前を寫生した。復習のすんだ後で家の手傳ひをした。今日の復習、算術十頁の一、二番、讀方一、二、三頁半、補習讀本（の二十三と四番の復習）

番茶のあこ

此の程大連から滿洲各地を視察した鹿兒島縣の教育家一行二十七名は滿洲各地至る處に於て内地人の活動しつゝあるのに感心して歸つて來た△そしてわれ〳〵内地にある者はこれかれ一層滿鮮の事情に注意して一般の人にも學校生徒にも大に植民思想を授けなければならぬ△われ〳〵は這回實地を踏査して實に多大のお土産を得たのである△がこれからは一般内地の教育家も是非大陸に出かけねばならぬ△且つまた邦人が如何なる方面に活動しつゝあるか其邊の事情も同縣人に囑託して參つたのであると何れもなか〳〵の熱心であつた

神社とお寺と教會

◎東本願寺（南山）廿五日午後一時半及び午後七時半より虎疫豫防の講演あり

◎曹洞宗別院（若草町）廿四日午後八時より彼岸會の説教あり

○禁酒演説會　旭町二丁目牧師館に於て廿四日午後八時より

○龍山日本基督教會（漢江通）廿四日午後八時より傳道説教、伊藤牧師の『新約の宗教』あり

○京城基督教會（南米倉町）廿四日午後八時夕拜説教　山本牧師の『耶蘇の偉大』あり

○日本基督教會（長谷川町）廿四日午後八時より井口牧師の『信仰の危機』あり

だいどころ

□クレオルチッキン　鶏の大身を鹽胡椒をふりて置き玉葱をせんに切りたるとソース鍋にバタをとかして入れ狐色にいため其邊に前の鶏を入れて兩面よりいためてトマトソースとスープと入れ中火にて四十分間程たきて皿に取り揚げ其汁にマカロニーのやわらかに茹でたる一寸位に切りたるを入れて汁がドロ〳〵になる位に煮つめて前の鶏を盛りし上よりすくひかけて其上にウスターソースを少しかけパセリの細かく切りたるをふりかけて出す（青木はつ子）

〔演藝案内〕

黄金館　電話一八五二（階上）一六三七（階下）　天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
九月二十一日より臨時特別大興行　▲世界的大名篇　▲大冒險大活劇第十九篇……
▲佛國政府撮影　▲帝國駐劄佛國大使ルニョー閣下御説明　○明天覽賜台覽『歐洲戰亂線内戰寫』全五卷……

有樂館　本町一丁目　電話二六六　日本活動寫眞株式會社特約
○九月廿二日より特別大寫眞提供……

黄金館　臨時特別大興行　吉田百々雀　吉田奈良子……
◎大活劇第十六號……第十八編第十九編　第十六金
◎佛國政府撮影（非賣品）歐洲戰線内　寫實全六卷
◎新派連鎖劇　新椿姫　全三卷

御成座　電話一一九一　町
九月十七日より開演　▲朝鮮新派劇元祖革新團林聖九一行……

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店……

廣告

◉マラリアに一番ヨクキククスリハ　龍山林藥房製劑のトラリア持効丸
藥價　金拾錢參拾錢五拾錢▲郵税貳錢　◉ニセモノアリ御注意◉
本舗　龍山　京城本町一丁目　㊐林藥房
代理店　山岸天祐堂

自働車運轉手　以上五十歳迄の希望者に……　都會に海外に大成功を成すに最も多い　東京市京橋區南紺屋町……

こゑる藥　身體やせて種々療養効なくお困りの方は郵券三錢封入申込あれ……　○東京市麻布區三河臺町　小川藥院

面白い懸賞
かぜねつ藥として有名なるアンチピリン丸の商標は……何印なりや
賞品　一等銀側時計　五個　二等英國製ハンカチフ　三等ツバメ齒磨
應募規定　解答はハガキに限り住所氏名を明記し宛名は大阪心齋橋アンチピリン丸本舗丹平商會と記す事　締切來る十月十日限……

はやりかぜ　ねつ一切に　最良のかぜねつ藥　病は輕き裡に治せ!!　藥は思立つた時買へ!!
發賣元　大阪　丹平商會本店　東京　丹平商會支店

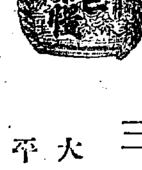
流經新藥レスノリン　月經流經　……常盤藥院

コレラ豫防注射の開始　赤貧に施療　仁川　小倉病院

新荷着　冬物大賣出し　九月廿五日より廿九日まで　京城明治町　唐川呉服店　電話

性相鑑定　毎日書間　會員募集　性相學會朝鮮支部　京城永樂町三丁目

京城旭町一丁目　内科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　小林醫院　醫學士　小林千壽　電話六九二番

優等清酒

三巴　九月二十日より冷卸發賣　京城府蓬萊町四丁目　三巴正宗發賣元　三巴酒造場　電話四〇六七番　振替口座六一八番　大田支店　電話一二五番　平壤支店　電話四五一番

京城府告示第壹六號

鍾路警察署管内ニ於テ秋季種痘及檢痘ヲ左記日割ノ通リ施行ス依テ生後九十日以上ノ未種痘者及種痘後滿年ヲ經過シタルモノ並ニ初種者ニシテ不善感ナリシ者ハ各其集合區域ノ施行場所ニ就テ種痘及檢痘ヲ受クヘシ

大正五年九月二十一日　京城府尹　金谷充

記

種痘

施行月日	施行時間	施行場所	集合區域
九月廿五日	午前八時ヨリ午后四時マテ	西大門町一丁目京城女子公立普通學校	積善洞、唐珠洞、弼雲洞、一二丁目、光化門通内ニ居住スル内鮮人
九月廿六日	仝	御義洞梅洞公立普通學校	昌成洞、通義洞、社稷洞、… 内ニ居住スル内鮮人
九月廿七日	仝	仝校	玉仁洞、樓上洞、樓下洞、通洞、清雲洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞内ニ居住スル内鮮人
九月廿八日	仝	松峴洞天道教中央總部	三清洞、八判洞、嘉會洞、花洞、昭格洞、諫洞、松峴洞、安國洞、桂洞内ニ居住スル内鮮人
九月廿九日	仝	公平洞中央市場	中學洞、壽松洞、堅志洞、寛勳洞、公平洞、鐘路二丁目、瑞麟洞、南大門通内ニ居住スル内鮮人
九月三十日	仝	鐘路二丁目元北部警察署跡	仁寺洞、鐘路二丁目、貫鐵洞、觀水洞、雲泥洞、樂園洞、齋洞、花洞内ニ居住スル内鮮人
十月二日	仝	授恩洞廟成社	勸農洞、臥龍洞、益善洞、敦義洞、授恩洞、鳳翼洞、鐘路三丁目、薫井洞、長沙洞内ニ居住スル内鮮人
十月四日	仝	崇三洞經學院	崇一洞、崇二洞、崇三洞、崇四洞、惠化洞、東崇洞、梨花洞内ニ居住スル内鮮人
十月五日	仝	鐘路五丁目元東大門分署跡	蓮建洞、苑南洞、蓮池洞、仁義洞、孝悌洞、禮智洞、鐘路四丁目内ニ居住スル内鮮人
十月六日	同	同所	鐘路五丁目、鐘路六丁目、忠信洞、崇仁洞、昌信洞内ニ居住スル内鮮人
十月七日	同	竹添町二丁目三番地青市場	橋南洞、冷洞、平洞、竹添町一、二、三丁目内ニ居住スル内鮮人
十月九日	同	同所	峴底洞、松月洞、天然洞、館洞、杏村洞、紅把洞、松北洞内ニ居住スル内鮮人

檢痘

施行月日	施行時間	施行場所
十月二日	午前八時ヨリ午后四時マテ	御義洞梅洞公立普通學校
十月三日	仝	公平洞中央市場
十月十三日	仝	鐘路五丁目元東大門分署跡
十月十四日	同	竹添町二丁目三番地青市場

母タケ子儀病氣の處遂に藥石の効無く昨二十三日午後八時半死去致候間此段辱知諸君に謹告仕候
追て葬式の儀は廿五日午後五時自宅出棺南山本願寺別院に於て執行可仕候
男　富田鈴吉　三郎　韓司　九十九　陸雄
親族總代　大須賀房次郎　山口太兵衛　中村再造
友人總代　北川吉三郎

父國太郎儀病氣の處養生不相叶本月二十三日死去候此段生前辱知諸君に謹告仕候也
追て葬儀は二十五日午後四時南山町本願寺に於て執行可致候
大正五年九月
男　今井一男　男　今井敏一郎　亭彦一
友人總代　佐藤毅三郎　武田左喜太郎

葬具一式　造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切　親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候　京城永樂町二丁目　大、葬社　電話一五六番

神佛葬儀請負　供花御寄贈品一切　京城大和町壹丁目五一　大和葬儀社　電話二四三八番

葬儀請負　供花御寄贈品一式　京城本町三丁目（壽館横）　朝鮮葬儀社　電話五六二番

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番　内科小兒科　入院隨意　毎日五名を限り無料施療す　醫學博士　古城憲治　醫學士　上野亮藏

外人四名、見田政照、居野ゆり、同吉行、佐竹秀一、同ます、大垣いち、小笠清林、川文一、山縣乙吉、外人二名、村木たけ、黒田兵次郎、松井竹……
……十錢普通券を呈す（但何番何號と明記に限る）

宮本武藏

第百六十八回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

此方は三浦屋四郎左衛門方に於て宮本武藏、お雪左門の姉弟に支度をさせ自分も用意をいたしまして、時刻を見計らひ立出でやうといふ時に四郎左衛門が頭付の魚で膳部を進め、盃を取つて「サア御姉弟とも目出度く本懐をお遂げ下さるやう四郎左衛門お祝申す」と兩人に進める、姉弟盃を受けて一口づゝ飲み、改めて武藏へ指す、武藏心地よく盃を擧げて 武「誓つて本懐を遂げさせます 御主人にも御安心下さるやう」と勇氣を付けて置いて盃を干し四郎左衛門に戻す、四郎左衛門も受けて一口飲み盃を納め、直ぐに自分も支度をして桜見をする積りでありますから一緒に立出でました、宮本が先に立つて仲の町へ來ると其騷ぎは一通りでない、何しろ三百何十人といふ人數が揚屋の前へズラリと並んで酒宴をして居る、躍るもあれば唄ふもあり大變な騷ぎ、宮本武藏は三名を連れて尾張屋へ來て見ると一橋如見齋を初めとして浪士、寺西などゝいふ面々が車坐になつて酒を次んで居て、目指す對手の長束傳八郎は今羅生門の舞をして居る最中、躍り出でんとする姉弟を制して宮本武藏がツカ／＼と其傍へ進むと 武「珍らしや長束傳八郎、拙者の面はよも見忘れはせまいな」と聲を懸けた、長束がヒョイと振返つて見ると宮本武藏であるから大に驚いて 傳「ヤア汝は宮本……」と言はせも果てず

武「今を去る事四年前、汝がために非業の最後を遂げたる藝州廣島の藩士岡崎織部の遺兒、岡崎左門同雪の姉弟、仔細あつて斯いふ宮本武藏助太刀いたし、此處に於て敵長束傳八郎を討つて修羅の妄執を晴らし遣はす免れぬ所と觀念なし、潔よく孝子の刄に罹れ」と大音に呼はつた、

京城本町一丁目 杉本耳鼻咽喉科醫院 電話一三三〇番 醫學士 杉本砂一

之を聞くと坐中一同騷ぎ立ち、ソレ長束に過失があつてはならん助勢をしろ、傳八を討たせてはならんと總立ちになつた、所へ飛込んで來た左門、お雪の姉弟 左「汝のために無念の横死を遂げし岡崎織部の伜左門」雪「妾は娘雪」左「父の敵長束傳八、其處動くな」と左右より一刀引き拔き詰寄せる、三浦屋四郎左衛門も面しく刀の柄へ手を懸けて後ろより姉弟に付添ひ、スワといはゞ助太刀して切付けんと身構へて居る、カラカラと打笑つた一橋如見齋 如「何奴かと思へばこれはまた、多寡の知れたる小伜に遊女風情、亦た其れを助ける宮本とかいふ出過ぎ者、假令親の敵にもせよ、討つ討たれつは武士道の常、古めかしき敵呼はり片腹痛い今江戸表に於て日の出の勢ひある一橋如見齋が刀に懸けて引受けた長束の身體、指でも指せるなら指して見ろ、ヤア各々面倒だに依つて切つてお了ひなさい 全「心得てござる」と浪人組一同一刀の柄に手を懸けバラ／＼と立上る 武「ソレ左門お雪は傳八に懸れ、他の者に目を懸るな、妨げなす者共は斯いふ武藏が引受ける」と一刀の鞘を拂つて 武「イダ來れ」と身構へる、大勢の浪人組四方八方から押取卷き切つて落さんと犇めく途端に大音上げて ○「待てッ」と止めた者がある何者ならんと一同が振返つて見ると之仍ち浪人組の大將分寺西彌惣右衛門號を閑心といふ

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

人物、此人は元會津加藤の家來で名明以來戰場往來いたし武功名譽の人物であるが當主式部少輔明成暗愚にして老功の人の言葉を用ゐず、妄臣を愛して忠義の者を斥ける依つて寺西彌惣右衛門浪人して號を閑心と稱し、江戸麴町に道場を開いて大勢の門人を取立て、浪人組の取締をして居ります、性來曲つたことが大嫌ひ、曲尺を見ても胸が惡るくなるといふ性質で、浪人組だから一橋とも交際つて居るが餘り如見齋の人物には感心して居ない、什麽も氣に入らない所があるといつて居た、所が今眼前に兩人の孝子が顯はれ、長束傳八を敵と呼んで之を討たんとする、然るに一橋如見齋、之を妨げ大勢の浪人共之を討たんと八方から取卷く樣子を見て、性來の義俠心、堪へ切れなくなつて大喝一聲 閑「アイヤ暫時待てッ」と呼はつた。

買ひに行きましよ 木村屋さして パンとお菓子とキャラメルと （京城明治町 電話二八七〇）

九月廿五日九星 舊八月廿八日乙丑 本命五黄 八方塞 大安

▲五黄● 妬忌極る事有日新事見合南方は吉 婚姻なし▲六白● 望事叶日轉居入學命談名弘拜餞▲七赤● 見込の當る求職婚禮運祥出漁等萬吉▲八白● 轉居旅行入門名弘家作求職金談新規定期業等日吉▲九紫● 約子定規の事有る日新事手控諸事士工は妨なし▲一白● 運りよき日轉居旅行入學求職金件控縁談入組の和睦る萬吉▲二黒● 白 つまらぬ噺多き日新事手控諸事は吉無益の散財を防ぐべし▲三碧● 好まれ迷惑の事有る日新事手控諸事は吉一切のせわ事せぬがよし▲四綠● 勃然とする事有る日躰て事を爲す勿れ新事手控諸事は吉

九月廿六日九星 舊八月廿九日丙寅 本命四綠 眼取 赤口

▲四綠● 風めけのずる事有る日新事手控諸事は吉約束に用心せらるべし▲五黄● 口惡なき事多き日新事見合北方は吉 物の別れを意味する日新事手控諸事は吉文散財を防ぐべし▲六白● 平調の日なれども新事控目の方吉諸事障碍は妨なし▲七赤● 口さ拵がれ迷惑の事有日新事手控諸事は吉女子は口車に乘らぬようせらるべし▲八白● 油斷のならぬ日新事手控諸事は吉一切のかけ事を禁ず▲九紫● 大吉の日轉居開業入學名弘金件建築婚禮餞山業等萬吉▲一白● 首尾よき日轉居旅行入學名弘出祐求職神上婚禮水產業等皆吉▲二黒● 善を施て笑はるゝ事有日新事手控諸事は吉婦人のせわを爲す勿れ▲三碧● 順潮の日轉居入學命件名弘家作求職婚禮取船納等皆吉物に勝の日

第二十六回 新學期

何人も中學校に入らずして容易に中學校卒業同樣の學力を得る懇切無比の中學講義錄を看よ

大日本國民中學會

本會は設立最も早くして基礎鞏固なる中學科の完全なる通信學校にして模範的獨習機關なり

講義見本つき規則無料進呈

名譽會長 正三位 尾崎行雄

學監 文學博士 遠藤隆吉 理學博士 山內繁雄

學事 文學博士 三宅雄二郎 法學博士 浮田和民 正四位 岡田良平

顧問 法學博士 和田垣謙三 農法博士 新渡戸稻造

第二十六回新學期開講講義錄大改良記念として此際至急入會者には入會金全免 參考書進呈 會費免除等 大特典の外 奬學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田駿河臺 電話本局 三〇〇二番 三〇〇四番 三〇〇七番 大日本國民中學會

クラブ齒磨

化學的作用に依りて口中を清潔にすること他の如何なる齒磨にも優れる

口中衞生の爲め一番有効なクラブ齒磨を……朝と食後……に常用せらるれば

病の口より入るを防ぐに卓効あり

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番 入院隨意

今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です―少し怪しいと思つたらスグ弊店へ 京城本町三丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

營業品目
罐詰 乾物 海產物 雜穀 清酒 銘茶
漆器 家具 文具 紙物 荒物 履物
金物 農具 石炭 石油 陶器 磁器
洗濯石鹸 洋蠟 日本釜 京城釜 サバリ井 提灯
蒲團綿 中入綿 小袖綿 鐵火鉢 箱火鉢 飯ビツ

仁川新町 津田兒弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八九番
仁川宮町 津田兒弟屋支店
京城本町 津田兒弟屋支店

[illegible]

……此運數三十萬三……太公司直營の分百六十二盃此運數八十五連此價格百五十九萬三千三百九十四兩二五にして其内採木公司持荷二十七萬三千六百四十一盃……ての現象なるも市況は依然天候の順調に伴ひて好況を持續し一般料棧に……りて遂下せられしもの既に四千盃……トドエゾ樺太の落葉松丸太の代品として鴨綠江所產落葉松丸太の輸出せらるゝに至りしは從來其例あらざり……

第三版

[illegible]

京城日報

廿五日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾五錢……
廣告料 ……
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 ……　振替貯金口座京城二〇〇番

喫緊の二問題

京城日報

虎疫蔓延の兆ある今日、吾人は此處に二個の問題を提供し、諸君の猛省と實行を希望して止まざる也。虎疫の猖獗と共に、其地方の人心を萎縮せしめ、戰々恟々、事毎に神經を過勞し、過敏に陷らしむるの結果、遂に健康を害し、身を損ふに至つて、周章狼狽する者を觀る、洵に不用意の甚だしきものにて、是等の人々は、自ら禍を招くものと謂ふべし。氣旺なれば人に勝ち、人盛なれば天に衝つべし。虎疫如何に其猛威を伸べんも、吾人耳に怯にして、目に勇氣あれば、敢て怖るゝに足らざる也。故勝海舟翁の、虎疫に罹さるゝや、悠々自若、吐瀉を制して、徐ろに靜養し、忽ちにして全癒するを得たり。其の歌に曰く『さばれなす、これらの神の世にあらば、我先づ討たん身は果るとも』と。一讀歌中の精神、實に勇氣の凛然たるものあるを覺ゆ、而して此の勇氣を養はんとせば、先づ神心の一轉を要すべし。往時醫藥の術、未だ進歩せず、神佛に祈禱して以て、疫神を退るものとなしたる時代に於ても、尚ほ世人は不知の間、神心の一轉行はれ、自ら勇氣の養はれつゝありたる事は、人の能く知る處ならずや。即ち諸國にありては、疫病の蔓延を見んとするや、村人邑民の老幼は大擧して、高歌放吟、鐘鼓を叩き、無形の力を以て、疫神を退攘すべしとなせり。之れ他なし、病疫に對する恐怖心を去らしめ、一方勇氣を鼓舞すべき、迷信的方法なりしなり。然りと雖も吾人は此際決して無謀の猪勇を勸告する者に非ず、恐るべきを恐るは當然なり。虚心坦懐、自ら健康を維持し、靜に勇氣を養ひ、精神の委靡せざらん事を奬るにあり。各人其の心得を茲に置き、以て自ら考ふる處あらば、虎疫の蔓延、敢て怖るゝに足らざるべし。之吾人が市民諸君に對して、勸告せんとする第一問題なり。

吾人既に斯る心得を以て、各々其の業に安堵し、傍ら惡疫の撲滅を期せんとするに際し、吾人の最も喫緊に感ずるは、所謂衛生組合の組織なりとす。我京城に於ける衛生組合は曾て最も有効に活動を現はしたる光輝ある歷史を存するも、聞く處に依れば、今日は諸種の都合にて、組合の存在なしと傳へらる、洵に遺憾千萬にして、今日此の際斯る再設は、吾人の希望して止ま[illegible]とす、猶且つ、當局者は多[illegible]力と、財貨とを抛つて、惡疫の防止撲滅に盡しつゝあるに對し、市民亦之に相應じて、豫防と撲滅を計る、當然の事ならずや。殊に朝鮮人街にありては、切實に同組合組織の急速を、希望して止まざる也。何となれば比較的衛生思想に乏しき者多きが故に、其の豫防の方法を審かにせざる者も、亦從て尠からざれば、自衛的機關の設立は、最も今日の急務なる所以也とす。此は即ち内鮮人一致して、速に虎疫を、市外に放逐すべき最も有力なる設備に外ならず。是れ今日吾人の希望する、第二問題なり。要は唯速設と、實行にあるのみ。

鐵自給策と製鐵所經營(二)

經濟研究會に於ける　押川製鐵所長官口述

事業開始と擴張實行

其の事業開始は明治三十四年で、日本に於て鋼鐵を造ることが始めて行はれたのであるが、其後經濟上の關係其他種々の事情より更に經費增額の必要に迫られ、第一回の擴張を爲すに至つた。一番始めは日本の鋼鐵消費額が漸く十八萬噸計りの時分に製鐵所が事業を起し、九萬噸即ち當時に於ける鋼鐵消費高の半分を造る計畫であつたが、年と共に鋼鐵需要高が增加し、九萬噸より十八萬噸を造ることになつた、是れ即ち製鐵所第一回の擴張である、其の後日露戰役を經て製鐵事業擴張の必要に迫られ、第二回の擴張に依て三十萬噸に殖やすことになつた。其の後民間に於ける鋼鐵の需要が非常に進歩し、以前からの增加の割合を取つて見れば、約そ十年間に三倍に上り、斯くて大正二年度に至ては約百萬噸の需要額に達した。之に對し日本では全部供給し居るかと云ふに、却々さうは參らぬ。製鐵所が造るのはざつと二十四萬噸で、消費額の四分の一にも足らない。一番最初は兎に角日本に於ける鋼鐵需用高の半分は製鐵所に於て造る計畫を立てゝ來たのが製鐵所が仕事を進める度合よりは、全體の需要の進歩が非常に早い。それで計畫をしたことが成立つ時分には今申す通り需用高の半分所でなく、四分の一位の狀況である。大正二年以後は三年四年五年と歐洲戰亂に際會して外國からの輸入は自然餘程減つて來た。外國に於ても戰爭の爲に大に需要が增し價格も騰貴した爲東洋方面殊に日本等に於ても需要することが制限されたものと見ねて、其後の消費額は殖ねて居らないが、之は變例で已むを得ない。

製鐵所第三期擴張計畫

此度の戰亂に際會して日本の鋼鐵製造力が甚だ弱いので、どうしても更に之が擴張の必要を認め、製鐵所に於ては、其案を豫じめ調査して居たが幸ひ昨年の議會に於て協贊を得、擴張案が成立つた。其れを申上げると大正四年即ち昨年度は二十七萬噸計りの生產高であつたが、本年度は三十三萬噸計り生產する豫定である。明治四十四年から大正六年度まで第二期の擴張が追加と共に繼續して居るが、此の第二期擴張が完成すれば三十五萬噸生產する計畫であつた。而して今回の第三期擴張は大正五年度より六箇年の繼續事業であるが、次の議會に之を五箇年に短縮する案を提出したいと思つて居る。それが完成すれば六十五萬噸の生產高に達する豫定である。日本の鐵消費高が大正二年に百萬噸であつたから今後或は百二十萬噸となるか、或は百五十萬噸位になるか判らないが、どうしても今日の如き製鐵の速度では日本に於ける鋼鐵生產の獨立を計ることは甚だ困難である。隨つて政府に於ても、民間に於ても、戰亂に鑑み一般製鐵事業を奬勵する必要があると考へ、目下着々と其等の調査準備に從事して居ると信ずる。果して十分需要に應ずる丈けの生產を國内に於て爲し得るや否やは重大な問題であり、最も困難な事であらうと考へる。

觀光外客招致策私見(七)

―經濟調査會の研究問題―

朝鮮ホテル支配人　猪原貞雄

△現在の日本ホテルの改良法

以上現在日本に於けるホテルの經營難並びにホテル經營の現況を述べ了りましたが更に其の改良法並びに將來執るべき方針に就いて卑見を述べたいと思ひます。日本ホテル業發達の爲めに保護法として現に總收入の約五分を徵せられつゝある營業税の免除も必要なるべくまた高率なる輸入品を最も多く使用することも故ら等に對し相當の方法を講じなければなりません、私の見る處では現在日本にある總てのホテルを合同して[illegible]ゆるホテルシステムなるものを確立する他に手段が無いと思ひますが是は頗る難事であると思ひますから新に一大ホテル改良會社を創立し尠なくとも横濱、東京、日光、箱根、鎌倉、輕井澤、靜岡、名古屋、伊勢、京都、橋立、奈良、大阪、神戸、宮島、下關、長崎の各地に完全なるホテル二十箇所を設け『ホテルシステム』を設くべき外途はありますまい既に鐵道院や朝鮮及滿洲、臺灣の各鐵道ホテルがありますから是等の中に撤下げ得らるれるものは撤下げして經營を引き受け現在の私營ホテル中買收せらるゝものは買收しレゾートホテルとして保存し不備なる場所には更に新らしく五十萬圓乃至五百萬圓の建設費を以つて三百人乃至五百人を收容するに足るホテルを建設し所謂日本ホテルシステムなるものを確立したならば蓋し理想なるものが出來ようかと思ひます。假令伊太利、瑞西、佛蘭西等の諸國の如く外人旅客の爲めに二億乃至拾億の正貨を流入し得ざるまでも右の如く國家的事業として一千二百萬圓のホテル改良會社を設立しホテルシステムを持て設備を完成し低廉なる料金を以て經營したならば一箇年一億圓又は其れ以上の正貨を遊覽客より流入せしむると強ち難事ではなからうと思ひます、現に日露戰爭後外人旅客の日本に於て遣つた金は一箇年四千萬圓、歐洲戰亂後の日本の施設としては此の際是非共必要であらうと思ひます、假りに建設費一千二百萬圓に對し年六分の利率とするも利息は僅かに七十二萬圓これを十箇年間政府に於て補給することは政府が海運等の保護に努めた點から云へば決して無謀な論ではなからうと思ひます。況んや國家の被くる利益はそれ以上のものがあるに於ては是非共識者の一考を煩はしたいと考へます

放浪漫記

九月十七日上海に於て　大谷光瑞

(承前)元來錢塘江口は、世界に於ける最高の潮汐に非ず、仁川の三十三尺の如きは之に勝れり、其他英國ウエルスの西岸の如き、英國海峽の南岸佛國の北岸の如き、カナダのノヴアスコチアの西岸の如き、南米マゼラン海峽の東口の如き、皆三十尺以上にて、カナダのノヴアスコチアの西岸の如きは四十三尺に及べり、然れども暴漲を生ずるは、皆錢塘江口の壯觀に及ばず、唯印度カルカッタの入口たる、フグリ河と英國ブリストルの附近に之ありと雖も、遠く此に及ばず、其他に或は之あるやも計らざるも、小生寡聞にして承知致さず候。錢塘の潮は支那に於ては、古より之を知り、漢の枚乘の七發にも之を記せり、この暴漲の爲江岸は常に破壞せらるゝを以て、この附近に都せる王侯は、最大の憂患となせり、錢塘の稱もこの堤塘の修築の費より因を生ずと云へり五代呉越王の杭州を領するや、この猛威を畏れ三千の武夫に堤上に强弩を列ね潮江を射し故事あり蘇長公は中秋暴潮を觀て曰く萬人皷噪懾呉儂、猶似浮江老阿童、欲識潮頭高幾許、越山渾在浪花中。又曰く江神河伯兩醯雞、海若東來氣吐霓、安得夫差水犀手、三千强弩射潮低と、蘇長公の光燄萬丈の大手筆を以てするも、此猛威を完全に文字に現出する能はず況や小生等の如きに於てをや、これを發するは本より大高潮の地たらざる可らず、而して地形漏斗狀をなし、海口に廣く海尾に狹く、而も水底隆起せざるべからず、而して高潮の來るや兩岸に狹められ、而も水底より壓上せられ、急速に十[illegible]尺の昇起をなすが故に、前面は瀑布狀をなし奔濤を起す、而して每時十三四英里の速力を以て突進するを以て、之を遠望せば恰も瀑布の前進するが如し、近く之を臨めば驚瀾怒濤萬騎の鐵蹄疾驅奔戰するが如し、由來目を樂ましむるもの多しと雖も、觀潮の如き勇壯雄大なるものゝ少なし、暴潮臨水天を拍ち、之を望めば懦夫亦起つべし、潮に順て上る、其の飛ぶ事鳥の如し、二時間を出でざるに九十支那里を過ぎ、杭州城外に達すと云ふ、暴潮亦年により增減あり、東風之を煽げば更に猛威を加へ、西風勁ければやゝ威を殺ぐ、昨年はやゝ低くして壯觀を減せり、本年は最良に非らざるも昨年に比し更に良好なりと云へり、小生は明治卅九年杭州城外に於て一覽せし事ありしも、本より海寧に於て見る如き壯觀に及ばず、十六日杭州を發し、即日上海に歸着致候。暫時滯留の上又々何れかへ遊覽の考へに御座候

金剛觀(上)

五絕三十首呈宗以文會諸公　呂圭亨

凡山之爲山　木四者之所成　勿劣名無名　土石與水
一横豎三縱史　土縱象山出地　皇始造字　横象地即
山中之金剛兹　千不見土之質　四若闕一　峰萬吏二
有似介族蟲背　被却在骨之外　身肉無在　毛髮與斷
所以大千界只　槩標舉與凡巽　一更無二　請陳其大
衆山土識石如金　掷洌地削斧　剛石錢土　貼地是墳
衆山木避石金　根拱抱成苺族　剛石孕木　竊缺斜托
無石山便黑無　衆色身欠株琢　木雨乃濯　衆山之孫
石木雨美具是　節玆又二種物　山能革畢　雖然山本
柯葉被風擺其　勵末是勵　捌霜陸森
邪噴水如走泉
遂作大動物　濫觴觀豹突　駛而爲猫
滌滙山爲濯
木仍水以溉　不更水將洗　三者互爲
根是成山全
房以探勝者　驛騎衆跋涉　都無一泥
洋點汚雙步
水無當於色　過石便化王　木復散色
工紅白靑黄
春花面夏㶚　秋楓多叔材　权栟者濄
雪莊瑛六出礼

日報歌壇

●須古俊梨花(京城)

天の川白き夜とたり我が心月の光に歌をはぐゝむ

夏の日の餘熱消つと我が胸に秋立つ朝を白き雨降る

その昔の清き眞白き心もて語らんほどの思出もがな

現身にあるべうもなき喜びをおほへて我君としならぶ

●逝水(京城)

襟盤にぬかづきてあればしみ／＼と强き力のひたなつかしき

酒のめどこのかなしみは失せやらず生れしまゝのさがの強さよ

若き身を如何に守らむうつくしき誘ひの唄もきこゆるものを

悔恨の夕べにつゞく夜の夢またも毒酒のさかづきをあぐ

新らしききちからに躍る心臟の歌をしきけばいのちなつかし

浪平板　鐵　洋釘
京城府南大門通三丁目　福田又京城支店
長電一二二　振替貯金京城二九二

期日正確 送料無料　京城本町二
正氣堂名刺舖
電話二一九五番　振替京城一二八三番

新刊書御案内
書名　著者　定價
標準分類日記及消息 第六卷　一、五〇
美術上立體派と後期派印象派　久米正雄　一、五〇
詳解佛蘭西文典　折竹錫　一、五〇
春浪快著集 第二卷　押川清　一、〇〇
小說受難者　江馬修　一、三〇
努力の生活　前田晁　八五
鬼の面　谷崎潤一郎　八五
宗教と人生　帆足理一郎　一、三〇
一喝禪　中原鄧州　九〇
清教徒神風連　福本日南　一、二〇
大英國の危機　家永豊吉　七五
散文集 自然と愛　金子薫園　五五
大正青年と修養　足立栗園　六〇
修養叢書 新刻資業立身傳　永田岳淵　五〇
修養叢書 新刻青年立志編　永田岳淵　五〇
探偵十八番　東京築造　三五
四季の料理　中川愛氷　四五
朝鮮人の衣食住　村上唯吉　一、二五
圖解 碁石攻合法　中川龜三郎　一、二〇
大阪屋號書店
京城本町　電六八四・二〇八六　振替京城二五七三

蠶繭屑物賣買業
京城府龍山漢江通八番地
河原壽夫繭絲店
電話(龍)四二一番

▲廣告▼

公示催告

大正五年中第一四八一號

香川縣高松市古馬場町參番戸
申立人　武田彌一郎

一、貨物引替證書　壹通
但荷送人前同所武田彌一郎荷受人京城南大門通北原源吉引渡地京城成地高松途物板ノ箱入八個原價八拾四圓六拾錢第九九號大正五年八月九日高松市新港町四丁目内國通運株式會社高松取引店發行

右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ因リ其の所持人ハ大正六年四月參拾日午前拾時迄ニ當院ニ權利ヲ届出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ其ノ期日迄ニ届出ヲ爲サヽルトキハ右證券ノ無效ヲ宣告スルコトアル可シ

大正五年九月二十日
京城地方法院

……仙次郎は十七日南部居住村谷某より……日を期限として無斷にて前記青木仙次郎の名義……を書入れ自分は其の盛……行衛を晦ましたる事判明したれば……

●暴風警報(九月二十四日午前十時三十分發)
[illegible]

名人小野五平翁閱　七段川井房郷講述
將棋百戰百勝
將棋定跡中最も巧妙を極めたる六枚落より平手に到る各流各型五十餘を撰抜し定跡通の著者が懇切に圖解説明せる百戰百勝疑なき六韜三略也
金五十錢 送料四錢
京城 大阪屋號 振替三七五二 電話六八四・二〇八六

葛原齒君　女屋秀彦君　共編
絕島探檢　十五少年物語
定價五十八錢 送料六錢
東京 博文館
中判美本四百七十頁　口繪大形寫眞十五個

たまたま漂流した一帆船、それには少年ばかりが十五名乗組んで居た。昔心慘憺漂着したのは絕海の一孤島。そこで十五少年は二ヶ年間一日も休まず最も男性的な生活を續けた。探檢を續けた。猛獸狩もした。蠻人征伐もした。その壯烈また愉快は稀な樂く事が出來ない。而も全篇に溢れてゐる温き友情と、常に新らしい科學的記述とは現代の日本の兒童諸君に最も悅ばれる事と信じてゐる世に痛快呼はりをする卑俗な冒險小說ではない。

永久の生命ある合理的な探檢實記

幼年世界編輯部纂
幼年繪話讀本
毎月一冊發行　各廿五錢　郵税各四錢
大判美本 毎編全部 色刷挿畫 五十個入
幼年繪話 九月讀本 新刊　七月讀本 八月讀本 (既刊)
面白イノト爲メニナルトデ大評判ノ繪本デス、コトニ九月ノ分ハトリワケテ面白イデス、早クオ買ヒニナラヌトスグ賣リ切レテシマヒマス

日韓書房
新版報告
谷崎潤一郎著　刺青　定價九十五錢 送料十錢
三宅雪嶺著　改訂縮刷 想痕　定價一圓六十錢 送料十二錢
桑木嚴翼著　哲學五流 其他　定價一圓二十錢 送料十錢
帆足理一郎著　宗教と人生　定價一圓三十錢 送料十二錢
日本及日本人臨時增刊　現代名家文章大觀　定價七十錢 送料十二錢
京城本町二丁目　電話……　振替……

巡查養成講義
巡查は内地臺灣朝鮮外國に就職　目下各方面募集▲本講義は斯界大家の逝世青年在郷軍人の福音▲本講義習得せば受驗確實▲會則進呈●東京四谷區坂町二六●文官巡查看守養成學會

十月號
少女畫報
前金　半年九十錢　一年壹圓六十錢
定價金壹冊拾六錢　郵税壹錢五厘
□口繪　□肌寒き夜　井川洗厓筆　原色版少女畫
□この指環　清水良雄筆　オフセット版
二色寫眞　□コスモス　□逝く秋
□海に山に　□働く少女　□女學生の登山　□珍らしい棕梠樹　□女のくせに　□渡して頂戴　□久潤　□子守唄　□子供を守る天使　□犬と猿と猫と
□謎のヴァイオリン　奇想天外より落つるが如き最新寫眞小說本社が莫大の費用を投じたる近來の大作
女話 燒肴煑肴……高島顧問
女學話 人形の見日記……和田古江
少女話 犬と猫と……石川博士
少女話 明日の遠足……岡田教授
英科少 □ふるさとへ(少女小品)……村岡たま子
□野分の朝(少女文話)……内海月杖
□野菊(花物語)……吉屋信子
□コスモスの散る夜に……伊澤みゆき
少女小說 浮草……尾島菊子
少女小說 物語……小野小峡
少女小說 私の人形……田村俊子
少女小說 鳥……
少女小說 嵐……石塚月亭
東京京橋區銀治橋外　振替東京四千九百番　東京社

●支那軍撤退電命

張督軍は佐藤枝隊より要求せる支那軍三十支里撤退の件を速かに承諾せよと討伐司令官に電命せり（奉天特電）

●狙擊犯人は馬賊

新臺子に於て我守備兵を狙擊せしは馬賊の所爲と判明せり（奉天特電）

●正式準備委員選定

同志會常議員會並に評議員會開會

同志會にては二十五日午前十時より常議員會を午後一時より評議員會を開き與黨合同問題に關し從來非公式に執り來れる經過を報告して其の同意を求め直ちに正式準備委員の選定を爲す筈なるが評議員會にては右正式委員の選定を總理に一任すると共に解黨に至る迄の一切の決定權を常議員會に一任する事となるべし尙加藤總理は同夜帝國ホテルに評議員會出席者の全部を招待し慰勞の宴を張る筈なり（東京特電）

●露軍進擊敵船擊滅

敵軍はナロッチ湖の東南方に於て密集部隊を作り攻擊を敢てしたるも露軍の銃砲火に依りて總て擊退せられたり又バラノウキッチ東南方に於ても同じく敵の攻擊あり露國水雷艇はネエルグリにて三隻の汽船と石炭を積載せる數隻の艀船とを擊滅せり（露都電報）

●竹內久一氏逝去

帝室技藝委員東京美術學校敎授正五位勳四等竹內久一氏は豫て病氣中の處二十三日夜永眠せり（東京特電）

□立太子式奉祝

十一月三日立太子式當日海軍は各所屬地に於て陸軍は衛戍地に於て夫々皇禮砲を發射し祝意を表する由尙當日は各官廳並に銀行會社各學校等一般に休業休課する事となるべしと（東京特電）

●元山軍旗奉拜式

咸興第七十四聯隊元山派遣第一大隊にては廿五日軍旗奉拜式を行ふべし（元山特電）

●度量衡令編纂

朝鮮現行の度量衡法は舊韓國政府時代の遺物にして度量衡の原器名稱等は內地の其れと異らざるも之れが取締其の他に就きては法規上不備の點尠からず總督府にては夙に改正の必要を認め種々研究中なりしが今回大體の計畫を樹て得たるを以て愈其の編纂に着手しおり成案の曉には法制局に廻附勅裁を仰ぐ筈なれば同制令の發布を見るまでには尙ほ相當の日子を要す可し

●耕地と灌漑事業

驛屯土附屬耕地を除く鮮內の耕地面積は田百八十六萬九千八百三十八町步、畓百八萬九千三百二十町八反步合計二百九十五萬九千百五十八町八反步なるが此の中畓面積に於て灌漑設備を有せるものは大正五年三月末現計に依るに在來の堤堰又は洑に依るもの二十四萬二千八百七十八町六反步、修築せる堤堰若くは洑に依るもの三萬二千四百四十九町四反步、水利組合又は個人の事業に依るもの二萬九千七百五十四町五反步、合計三十萬五千八十二町五反步にして堤堰及び洑の修築に依る蒙利面積の增加及び水利事業に依る新灌漑面積合計四萬一千三百九十一町八反步を示せるも尙ほ灌漑的設備を有せず全く天水に依る畓の面積は七十八萬四千二百三十八町三反步を算せり

●各道通信機關

最近遞信局の調査に係る全道通信機關乃ち郵便局郵便所電信電話取扱所の總數は五百九十九箇所なるが一局所に對する面積を各道より見れば京畿道最も普及し八方里に一局所を有し忠淸南道は次位にて十一哩二九に對し一局所慶尙南道第三位全羅北道第四位全羅南道第五位忠淸北道第六位慶尙北道は第七位にて二十方里六〇に對し一局所の割合となる第八位は黃海道第九位は平安南道第十位平安北道第十一位咸鏡南道第十二位江原道にて四十九方里に一局所第十三位は咸鏡北道となり百十六方里に一局所を算する譯なるが全道平均は二十三方里五十八に一局所となる由

●大阪だより

……ーズベルト氏時代よりの一問題たる銀……上全國に六十有餘の國立銀行を置き……の準備局に……

●露國向朝鮮品

京城商業會議所にては既記の如く來月五日頃より行程約一箇月間の豫定にて書記長大村友之丞氏を主とし多年日露貿易に經驗を有する加藤巡吉氏に囑託同行を得て露領貿易調査員として派遣することゝなり居れるが今回の調査は會議所にて蒐集したる朝鮮生產品を初めとし會員其他より依托を受けたる物產の紹介を爲すにありて單に日露貿易と稱するも廣く鮮露貿易と云ふ可き方面の物產を紹介するにあるなり而して其紹介す可き朝鮮物產は廣く一般の商業家より募集することゝなり會議所よりも一般に通達する所ありたるが如何なる商品が彼地の需要に適するやは容易に識るを得ざるべし今加藤氏が既往數箇年間實際に貿易事業に從事したる經驗により調査せる商品中の主なるものを聞くに大要左の如きものなりと云ふ即ち左記は何れも純朝鮮生產品にして露國に於ける上下の需要に好適するものにて就中米は現品をしても亦菓子の原料としての將來頗る有望のものなりと

▲米（白米、玄米、道明寺、米粉、紅茶用、菓子原料）▲果實（水蜜桃、梨、苹果、串柿、栗、葡萄）▲果實罐詰▲野菜罐詰▲蔬菜（玉葱）▲人參製品（滋用人參、人參精製）▲絹▲莞草製品（敷物、帽子）▲漆器（螺鈿細工、手入、手袋入、箱類、手巾箱、卷烟草入、名刺入、額縁、寫眞立、ペン入、衝立、天井張等の裝飾用品、化粧品入箱、椅子、小棚、卓子、飯臺、戶棚、杖、洋傘）▲眞鍮銅鐵鍍金製品（一輪活、文鎭、花瓶、手道具、建築用金物）▲陶器（日用食器、高麗燒製品）▲竹細工、柳類、窓用簾、パン入、籠類▲精品塗料▲把柳製品▲沃度類▲ボイル油▲鯨油▲朝鮮紙▲海產物罐詰▲胡麻油▲落花生油▲魚肉▲凍天▲團扇▲大理石▲薄荷類▲刺繍類▲安價掛泥

●朝鮮未曾有の豐作

本年の米收一千三百萬石を超へん

湖南沿線稻作視察後の所見

東拓副總裁　野田卯太郎氏談

朝鮮本年の米作は如何であるか、新聞の記事や東拓各出張所の報告によると先づ豐作のやうに思はれる、然し雨の多かつた京城の不順な氣候より一般を推すと豐作說も聊か危ぶまるゝ次第だ乃で吾輩は百聞一見に如かずと貴社の阿部無佛居士と相談の上相携へて十五日湖南大門驛發湖南鐵道沿線の稻作視察に赴いた譯だが、先づ京釜線水原以南まで行くと車窓より遠く平野は黃金の波打ち實り稻は首重たげな狀況を目睹し且つ驚き且つ喜び豐作の豫眞に予輩を欺むかざるを知つた、然し全羅南北道は今春以來最も水害の烈しい場所であつたが、忠南全羅南北の三道を通じて此の地方は如何かと思つてゐる、コレも當初危ぶんだほどでなく水害當時より見ば漸次作柄が直つたものと見へ車窓よりの望見し又は諸方に多少入込んで作況を視察すると一反步籾三石——乃ち玄米一石五斗の收穫は下らぬものと思はれた、尤も全道如斯とすれば其の水田總面積より推算して朝鮮本年の米收一千六百萬石となる勘定であるが、事實は此の算盤通りには行きまい、先づ

▲二百萬石を超過する譯

三百萬石を天引しても本年の實收一千三百萬石は動きまいと吾輩は確信する乃ち昨年の收穫高一千百萬石より二百萬石は殖へる譯だ、で將に朝鮮未曾有の大豐作と云はねばならぬ、何故吾輩は斯く確信するか、先づ考へて見るが好い、第一水害の烈しかつた全羅南北兩道の實狀は怎うだ、南道は昨年に比し一割何分の增收北道でさへ五分乃至一割の增しと確聞し又た確信した、南道は水田の面積多く北道は割合に少ないが昨年に比すれば上述の如き剩餘を見る、水害の次で甚しかつた慶尙南道は先づ昨年通りと想察し、忠淸南道は前年より四十萬石の增、忠北も作柄はよい、更に慶尙北道は約五十萬石の增收見込と聞く、京畿道は百八十萬石の豫想で一割五分增黃海道は全鮮中最も良く、平南北咸南北江原諸道も前年に較べて

▲作況大に優良

だ斯く觀じ來れば現在の所一千三百萬石收穫豫想は決して過當でない、事實はモ少し上に行くかも知れぬと吾輩は信じてゐる、湖南地方の視察は吾輩にとつて二度目である、此行、囑目、個感色々あつたが先づ第一愉快に目に映つたのは全羅忠淸各道に於ける改良米種獎勵の効歷々現れてゐる事だ、當局及び營農者苦心の效空しからず鐵道沿線の田は改良種の連續のみ其の黃稻の穰々たる所實に內地の九州中國地方に比するも些の遜色がない或は氣候の不順であるため稻の實入りの如何を氣遣つてゐる向きもあるやうだ。しかし吾輩の見た稻の色より推せば其れは杞憂に過ぎぬと思ふ次に本年は雨多く灌ろ川水は多過ぎたので山間や畢田で例年植附の出來ぬ土地に素晴しい揷秧をやつてゐる之れが爲め全北一部の水害減收地の如きは大に補つてゐるやうじや、尤も此の狀態を仔細に觀察すれば個人的には幸不幸が多からう、全北益山郡の如き同情に値する

▲內地人營農者

のある事を聞いた、然し全局より觀察すれば湖南地方の米作斷じて悲觀を要しないのである、又各地に於ける水害の原因並に結果を見吾輩の時々唱道する河川改修の必要を痛切に感じた、乃ち江景平野の錦江、全州平野の萬頃江、古阜金堤平野の東津江、羅州平野の榮山江の如き皆然りである、灌漑の便を圖る水利事業は勿論朝鮮の平野にとり必要の度は論なきも、河川の改修も亦之に伴はしめたい、唯だ河川の改修と云ふも巨費を要するから財政の關係上早急に著手を希望しても不可能だらうが吾輩は此の事業たる一日早ければ一日の利益あることを唱道し國益の發展上問題の解決の可成速やかならん事を當局に希望する次第である

●農資貸附類別

漢湖農工銀行の現計

漢湖農工銀行に於ける農工資金の貸附現計は總額百三十八萬八千四百七十圓其の口數四百四十六口二千八百三十八人なるが前月及び前々月に比し回收多き爲め若干額の減少を示せり其の貸附別を擧ぐれば左の如し

大豆耕作資金	八〇、一六一、九〇〇
煙草耕作資金	六六、七六一、〇〇〇
煙草倉庫建設資金	三七、八八五、七五五
人參耕作資金	二七七、三五八、六〇〇
蠶業資金	一〇、九三五、〇〇〇
水利事業	三〇〇、九四一、八〇九
洑及堤堰修築	一五、三七七、五九〇
開墾資金	二一六、八〇六、八四〇
果樹栽培	一二、一五〇、〇〇〇
耕作種子肥料	一一、九三七、〇〇〇
耕作地購入	二、三二五、〇〇〇
植林資金	二〇、一六〇、〇〇〇
工業資金	四六、七三九、五二〇
其他	四六五、一四七、一五〇
商業	二六、一七二、九三〇
合計	一、三八八、四七〇、四三四

●咸北農作豫想

咸北道重要農作物たる粟、大豆、水稻其他の本年收穫豫想高は前年に比し概して作柄良なるも大豆のみは旱魃の爲め被害を被りたるものなからず爲めに一時三割方增收の見込は稍減じて昨年より三分方減收の見込みとなれり今其豫想高に依れば粟作は三十三萬五千六百十二石にして昨年より一割七分の增收水稻は三萬千七百八十八石にして前年に比し之れ亦た大約一割二分の增收を得べき見込みなるも大豆は十六萬九千三百三十二石にして昨年に比し三分方減收の見込みなり

●鯛漁依然不振

京畿道沿海に於ける鯛一本釣漁は其の第一期に當りて不振を極めし爲め漁業者は鎭南浦大連方面に轉漁する者多かりしが其の殘留者は八月以降漸次延繩釣に移り又た之を目的とせる來漁者九月上旬より相當に入り込み昨今五十隻內外の延繩漁船を數へ居れるが中には一潮時九十圓乃至百圓に達せしもの無きにあらざるも中には僅々二三十圓に過ぎざるものあり昨年の如き一潮時百二三十圓の漁獲に比すれば不况を免れざるものゝ如し

●北鮮秋季演習

羅南聯隊及び咸興聯隊の秋季大演習は來る十月六日より同十日までの五日間に亘り咸北羅南を中心として擧行さるゝ筈にて尙之れに引續き幹部演習をも行ふべしと（元山）

●齋田生育狀況

京畿道富川

郡桂南面梧柳里小峰源作氏耕作中の獻穀類は爾來生育良好にして最早成熟を催し本月末頃刈取をなし得べければ豫定の如く十月十五日迄には總督府に納附すべしと猶耕作地附近に於ける虎疫豫防に關しては最も嚴重を極め廣く警戒線を張り一切他人の出入を嚴禁せる外附近人民は絕對に惡疫流行地と交通せざることゝなり居れり

●北支航路變更期

朝鮮郵船

朝鮮郵船會社北支那航路の航路順を仁川より芝罘を先とし乃ち逆とする事は旣記の如きが其の期日は九月二十八日よりと旣報せしも右は十月二十九日よりの誤聞にて例年なれば十月初旬より之れを實行する譯なるも本年は特に一箇月間を遲延せるもの也と

●咸北々寄貝漁況

咸北道

咸北道羅津灣一帶沿海の北寄貝は其棲息夥だしき事世上に喧傳せらるゝより元山地方の漁業者は此の機を逸せず北寄貝の出漁を計畫するもの漸次增加し本冬は元山より雄基及び同附近に約五十隻の漁業者來航の筈にて目下準備中なりと云ふが現在同地方には內地人にして漁船八隻を使用して從漁しあるを以て之を合すれば六十隻にも達すべく斯く多數の漁業者あらば遂に濫獲の結果其跡を留めざるに至るべきを以て當局にては何等かの方法を講じ保護を計るべしと因に北寄貝の乾製品は內地試出の結果好評を得客月淸津より神戶に仕向られたるものは四千七百八十斤一千三百五圓に達せり

●鮮語科設置建議

京城學校組合會議に對し田中半四郎氏より提出せる高等女學校及び高等小學校に鮮語科を隨意科として設置せんの建議案は全會一致の贊成にて議長たる金谷府尹の手許に差出したるが提案者たる田中氏の談に依れば其趣旨とする所は鮮人が內地語を解せんとして努力する其速度は實に著しきものあるも社會の全般に普及して內鮮人相互間自由に意思の交換をなし得る迄には前途頗る遠し故に今日高等女學校又は高等小學校等の比較的語學の修得に容易なる者をして鮮語を學ばしめ以て簡單なる日常の交際語を其家庭に普及せしむるを得ば日鮮同化の效果一層迅速ならしむるを得べし殊に內地人の家庭經濟より云ふも鮮語を解せざるため今日就職難を訴へつゝある何萬人の鮮人を婢僕又は一時的の使用人として雇傭することを得ず却つて高額の給金を支出して不足勝なる內地人の婢僕を雇傭るゝことに苦心して居る現狀なれば若し將來家庭の或る一人が鮮語を解し鮮人も亦日本語を諒解するに至らば兩者の間に多大の利得を感ずるに至るべしと云ふにあり

●朝鮮新聞新築祝宴

朝鮮新聞新築落成祝宴は二十四日午後一時より大觀亭にて擧行せり來賓は京、龍官民新聞雜誌記者等百餘名に達し萩谷社長の挨拶あり之に對し原田商業會議所會頭は來賓を代表して謝辭を述べ阿部本社長は京城記者團を代表して祝辭を述べ次に山口太兵衞氏の祝辭あり其れより立食の宴に移り吉田奈良女の浪花節、藝者の手踊其他餘興ありて賓主歡を盡して午後四時散會せり

人事

▲大味久五郎氏（元沖繩縣知事）二十四日午後九時南大門驛着東拓理事邸へ投ず

▲大竹十郎氏（九州工科大學敎授）入京中の處二十四日朝出京

▲櫻井乾城氏（廻送業）二十四日夜入京龍尾

言吐語

萬事不足勝の獨逸人は飲物などの缺乏には大分閉口して居るらしい▲と云つて飲まぬ譯にもいかぬ其處で例の新發明や新發見に大分腦味噌を痛めて居る▲獨逸人が日常最も重要な飲物として居る茶の如きも絕對に輸入が杜絕した▲其處で伯林皇立農會では草木の葉二十種以上を集めて茶の代用物を調査した結果▲一番好のは苺の葉であつて只今では獨逸人は皆苺の葉の汁をガブついて居るが高い支那茶などより此の方がズーつと風味が好いと云つて居る▲瘦我慢の強いのは獨逸國民の常であるけれど存外苺茶なんどは洒落て居て好いかも知れぬテ▲肅親王は淸室の棟梁であつて能く社黨などにも擔がれるが其資質と風格とが自ら大に具つて肅王は德の人で恭王は氣の人である▲肅王が日本に倚親するに對し恭王は獨逸に傾倒して居る處なども極端な反撥である▲或邦人が肅王を訪問すると「幽燕非故國、長嘯返遼東、回馬看烽火、中原殘照紅」と一詩を示した▲更に恭王を訪ふと王楣間に獨帝とヴルデルセーの小照を揭げ▲『白雲不在天、靑山不在地、中有神龍游、瀟湘空際起』と書し笑つて答へなかつた相な▲肅王が親日の情感を述べた詩も多いが中に斯う云ふのがある▲『破浪乘風至、天涯萬里船、扶桑紅日出、驚起醉人眠』などは如何に慷慨の眼を以て東海の武俠國を見て居るかと判るではないか

良妻賢母

●女子の本分

▲料理と作法を心得ねば女一生の損

▲嫁入に五荷の仕度にも勝る貴くして

重寶なるは板垣伯夫人會長大隈侯楠木男顧問の東京割烹講習會發行家庭料理及び禮法の講義錄なり

▲料理の秘傳と作法の奧義

秘傳と奧義は夫れ〳〵料理の家元や禮法家の家傳にして從來なかなか之を傳授せざりしが同會は家庭料理及び家庭の改善を主旨として立てるものなれば如何なる秘傳奧義もどし〳〵講義錄に揭載公開されたれば志ある人は此機會を逸せず早急入會して之等を會得せらるべし左に其內容を說明して本紙愛讀者に勸む

▲禮儀作法と家政

禮儀作法心得の有無は人の品位に關するものなり然るに人々日常行ひ居る事の中に知らずに行つて居る事間違た事や半信半疑の事等多々あれば重きをこゝに置き實用的說明をなせり例せば▲各場合贈答の心得日常の禮▲座り方、立ち方、步み方▲媒酌の心得▲婚禮の心得▲西洋食卓法▲日本食作法▲忌服喪儀心得其他を圖入りにて說明し家政に於ては一家の內政を云ふ人の是非心得べき事を詳細說明せり

▲年中行事と料理

▲花見▲七五三▲歲暮▲大祓▲お正月▲門松正月飾り▲年越等の年中行事より婚禮式▲出產▲誕生▲還曆▲古稀▲喜の字等の人一代の行事を故事傳說を參照して其由來及び心得を說明して各場合の料理を添ゆ

▲日本料理

▲一般家庭向惣菜料理を主とし▲卽席料理▲安價料理▲晚酌料理▲野菜料理▲老人、小兒、病人の食物▲松茸栗飯の炊き方より▲會席料理▲本膳料理▲各種儀式料理等を說明す

▲西洋料理

一品料理▲日本人向料理▲各國の料理▲家庭用輕便食パン製法▲コーヒ及び紅茶の入れ方▲西洋人日常の食事其他澤山あり。

▲支那料理

支那料理は世界各國の料理法中最も進步せる調理法に富めるものなれば每號十數種を講述す

▲和洋菓子製法

家庭の娛樂と實用を兼ねたる高尙なる和洋菓子の製法を說明す。

▲漬物の漬方

漬物は日々の食事の必要品にして一見平易なるが如くして眞の鹽加減に至りては實に六ケ敷ものなり其の上手下手は一家經濟に關するものなれば心得べき事なり。

以上の各課目總て同會附屬帝國女子割烹學校と禮節研究會とにて斯道の大家の研究教授せるものを假名さへ讀めれば誰れにも判る樣親切に編述せる實用的の通信講義錄にして今日迄に男女十有餘萬人の卒業者を出せり。

▲今回新學期を開始

全國に向つて男女會員募集中なるが會費は一ケ月僅かに金卅五錢三ケ月一圓六ケ月一圓九十五錢一ケ年三圓六十錢にて半年又は一年卒業なり何月からも採用で送附さるゝ

▲美麗なる講義錄は後に纒めれば立派なる藏書となり一生の相談相手となるべし。

▲入會手續きは

極めて簡便にて「ハガキ」に講義錄送れと書て申込ば直ちに會員として送本し會費は後にて其地の郵便局より集金に行く故送金の手數もなし目下新學期開始中故入會の絕好機會にして

▲五大特典

入會金免除、料理必携進呈、六月前納者に家庭寶典進呈、一年前納者に婦女通鑑、紀念メダル進呈等ありて入會者の利益此上もなし

▲內容見本と規則書

を一見したき人には申込次第無代進呈しつゝあれば遠慮なく申込まるべし

東京本鄉元町一ノ三

東京割烹講習會へ申込

同會振替口座東京一九四一〇電話下谷五六九二なり

の經濟界觀察のため…千八百十五萬五內…
せり語て曰く多年の懸案なりし米關…せしが斯ては悲況來りし時救濟難かるべし依て政府當局は種々苦心の
の對內政策は近頃著々成功第一ルー…補填に所得税制を設けたり昨年は約入千萬圓の收入ありしが今年は約一

▲議節米輸出 …の手により高濱倉庫に於て桝通りを終へたる翻新米三萬四千俵の內約一…家が可成當用買の方針を取り買進まざるより今一息の發展引立たざりし

…本月例會に於ては約四百四十二萬四五千圓の取引ありて異例の盛況を持する事とて一般の賢行鈍き割合同業者…界の活躍と共に新加入者增加し本年一月以降七月迄の七箇月間の新契約七十六萬千六百五十圓の增加を呈し時の不振に對し反動的殷賑を呈し居…

…發起人は…誘惑者十五名計りの由にて株式割當は最早內定し居る由名稱は多分大阪絹毛紡績と稱すべし（大阪支局）

秋の文展（三）　瓢簞鯰＝米原雲海刻

手洗主義
虎疫を恐れるゝ 黴菌が付け込む
木下醫學博士の談

大阪醫科大學の木下博士は虎疫豫防に就き講話を爲せり曰く最初長崎に虎疫發生の際或家の主人公は早速嚴戒令を布き食物は

◇芋の粥と梅干 にきめた所間もなく其の主人公が避病院に收容せられたのは有名なる話だこれは餘りに同病を恐れて少しの滋養物もとらなかつた爲め意氣銷沈身體の弱つた所へ附込んで恐ら黴菌が襲ふたのであつて營養不良は反つて虎菌を招致するやうな結果を來すのである虎疫發生當時某工場主から注意を求めて來たが自分は直ぐ手洗主義の勵行を勸告した手洗主義とは

◇食事の前後ご 用便の後に稀鹽酸又は石鹼で必らず手を洗ふ事で實際同病は手の用心が肝要である例へばこゝに患者が發生し家人が醫師の家が遠い爲め滿員の電車に飛び乘り革に攫まつたと假定すると其の家人の手に萬一虎疫菌があつて革に附着すると忽ち第二者第三者に傳染する事となる其結果は實に恐るべきものを生ずる手の向く所は

◇電車の吊革 を初めとして瀬戸茶碗煙草等だが僥倖にも專賣局から一人の患者を出さない若し其の職工の一人に保菌者ある時は喫煙家に害毒少なからず當局者は嚴重に監督せざるべからず又小兒が指を啣へ玩具を頰張るが如き事は危險も甚しきものである父兄は充分の注意を要する最も注意を要するは魚水禽、新らしき野菜で鷄卵は外面をよく洗ふの要あり比較的安全なものは四つ足の動物で牛豚を煮燒きすれば極安全だ蔓延の大主因は空腹を堪へ兼ね暴飮暴食して胃腸を荒す爲めである（大阪支局）

一夜八百留の收入
哈爾賓に大持ての支那新女優

支那劇の女優として北京天津にても非常の人氣を博せる安藤紅は十四日より哈爾賓傳家甸なる

◆東樂茶園 に於て開演し居れるが相變らずの好人氣にて大入滿員一夜に八百留の收入ありしとのことなり右に就き聞くに安藤紅は本名安藤よその（二三）と云ひ名古屋の產にして彼が支那女優として今日あるに至れるまでには一片の哀史あり本人の語る所にては父は

◆小學校の 教員なりしが去明治三十九年家族にして滿洲遼陽に出で仲居奉公をなすこと丶なりしが來て見れば仲居にはあらで酌婦なりき一度は憤慨したるも異境に彷徨ひ來て背に腹は替へられず仇し枕に代る數々のお客を取る內小島某なる日本人より落籍せられたり扨而亭主にして見れば酒と博奕の道樂に愛想が盡きて再び

◆元の土に 返る破れ土燒暫らく二度の勤めで埒も無き日を送り居る中一支那人より遂に再び落籍せられたるが此支那人こそ金壽山とて支那の役者なりしよりよその幼い時からの芝居好きは忽ち良人金壽山の眞似がして見たくなり天稟の才人と見ねて次第に上達し良人も嬉んで玆に

◆夫婦手を 共にして舞臺の人となりけるに良人よりは其技の非凡なるものありて早くも支那人間に持て囃されたるものなりとぞ（長春）

◆石油乳劑を ドシ〱打ち懸けよ
恐る可き蠅を退治するには是れが最妙

蠅は啻に虎疫の黴菌許りでなく總ての黴菌の傳播者である蠅の養成所は塵芥溜であるから石油乳劑をどしどし塵芥にぶつかける事とするとよい

從來傳染病の發生せし際にはクレシン（一封度廿二錢）アルザリン、石炭酸（一封度三圓五六十錢）等を使用してゐたが何分之等の消毒液は非常に高價なので他に

◆安價な消毒液 の調製方を研究中のところ前記石油乳劑が、石炭、クレシンに劣らぬ殺菌力を有する事が發明さるゝに至つた、今東京市衞生試驗所に於ける實驗表を示せば左の如くである

量	虎疫殺菌時間
▲クレシン一、〇%（百倍）	五分間
▲アルゼリン〇、二五%（四百倍）	即時
▲石油乳劑一、〇%（百倍）	五分間
▲石炭一、〇%（百倍）	五分間

右表に依るとアルゼリンは非常に猛烈なる殺菌力を有つてゐるけれど價が高價であるから多量に使用する事が不可能である然るに石油乳劑はクレシン石炭酸よりも安價で然も同じ

◆強さの殺菌力 がある、昨今の石油の相場は一合二錢乃至三錢であるが一合の石油さへあれば無慮一斗の殺菌劑が得られる藥屋から少量の樹松脂（粉石鹼の事）を求め其を一合の水に溶し其水へ一合の石油を混じ充分に振つて石油と樹松脂液とを混和し之に九升九合の水を混じて力任せにひつ掻き廻せば立派な石油乳劑が出來上る、此液を虎疫のみならず赤痢、窒扶斯等の黴菌の繁殖し易い塵芥に充分掛けておけば數分間に無害な物となる許りか

◆蠅の發生をも 防ぐ然れば若し各個人の塵芥箱にも此消毒液を使用すれば市內の蠅族を殆ど全滅させる事が出來る衞生に意を注ぐ家庭では盛に此液を使用し始めた結核患者の居る家の塵芥其他の消毒にも此液を用ひる事を勸告する、東京市內には日々一千餘名の掃除人夫が絕ず危險なる塵芥を取扱つてゐながら一名も虎疫に冒されぬのは要するに此消毒液のお蔭だそうだ（東京）

●仁川鯛の刺身 を喰つたか
櫻井町の患者

京城櫻井町一丁目筑紫醫院に初發したる見度頂に…患者小笹ミツ（二二）の病原因系統に就いては極力探究中の所發病前夜即ち二十日の夕餉に仁川鯛をお汁物として煮て食ひたる際或は刺身料理として食ひたるやも計り難き由にて何れにしても鯛を食したるが恐らく原因ならんと觀測せられ居れり而して同夕刻入浴したる同町の湯屋或は同人の掛けたる電話機を初め接觸したる器物、著衣は勿論身邊所在の物品は悉く嚴重なる消毒を施し尙隔離したる附近の十戸四十八名に對しては二十三日も健康診斷をなしたるが何れも異狀なかりしと

●巡回講演は明日
雨天の爲め一日延期す

本社防疫巡回講演は二十五日を以て開催の筈なりしも二十四日午後四時京城測候所員の語る所に依れば二十五日は午前中少雨あり午後に至るも漸く曇天の見込みなる由にて時節柄最も重大なる講演を爲し出來得る丈多數の市民の來聽を請はんとする本社の衷情なるも天候不良にては聽講者たる市民諸氏の參聽に不便なる點もあり、隨つて豫防心得を全市に徹底せしめんとする趣旨にも反するわけなれば、巡回講演の完全を期するため一日を延引し二十六日を以て開催する事に變更したり、請ふ之れを諒せられよ

◎防水劑を種に 大仕掛の詐欺
各地を荒らす

自稱大阪市南區錦中町日新合資會社員高島惠吉（四〇）といふ男去る七月七日滿洲公主嶺榮町藥劑師川上謙一方に到り防水原料を販賣したしとて見本として眞正の原料を示し試驗の上川上を瞞着し僞物の原料九百六十袋を交付し代金百六十八圓を詐取して行衛を晦ましたるが後に至り詐欺手段に罹りたること判明し其筋に屆出でたれば取調べの結果

▲是等の一行は 同人の外に小山勘一、難波重次郎、岡田熊次郎、成田龜次郎、永谷稔等あり高島は多數の荷物を京城に置きある形跡ある由尙本年五月末黃海道鳳山郡沙里院雜貨商末宗直方へ怪しき一人の男赴き前同樣の手段にて無效品二百四十袋を交付して四十二圓を騙取したる事實あるも末宗は之れを秘しゐたり又七月二十二日忠南論山郡江景中町雜貨商山口周一方に東京市淺草區神吉町富久多合資會社

▲出張員山本某 と稱する者立寄り福田式防水劑を販賣すべしとて同樣手段にて無效品二箱を交付し代金八十四圓を騙取逃走したり何れも同一手段なるを以て多分此一味の仕業ならんとの見込みにて全鮮手配中なれば一般當業者は欺かれざる樣注意すべしと

●新劇壇の巨星
高田實死す

新劇壇の巨星高田實は盲腸炎に罹り神田區淡路町の自邸に於て療養中の處二十四日午後一時終に死去せり享年四十六歲（東京特電）

●爆藥に吹飛されて
頭部を碎かる

山口縣玖珂郡柳井津町生れ當時全南靈光郡陳良面內里居住の鍛冶職河岡孫太郎（四三）は九月十一日午後六時頃同面馬川里の石山にて石材を切出す爲め爆藥の裝塡中俄に爆發し同人は鑿孔用の鐵鑿を握りたる儘吹飛ばされて顏面頭部を粉碎され全身數箇所に火傷を負ひ高さ約一丈許りなる下の干潟に墜落して即死せり急報に接し靈光署より係員出張檢視せしが同人は以前布哇にて一萬圓以上の蓄財をなし昨年歸朝の際朝鮮の海岸に埋立地を築造すれば甚た有利なる由聞き渡鮮し目下新地埋立工事中なるが既に六千餘圓を工事費に注ぎ込み熱心從業中なりしと

●強盜は僧侶揃ひ
何れも懲役十年に處せらる

黃海道瓮津郡西面青蓮寺の僧侶京畿道江華郡州內面南山里居住の張順祚（二二）及び同寺の僧侶慶北居住の池懸罪（四四）の兩名は外一名の僧侶と共謀し本年八月三日白晝拳銃、鎌、棍棒等の獲物を携へ江原道金化郡任南面遂田里全寅範方に突入し荒繩にて寅範を縛り揚げ兇器を示して脅迫したる上吾等は義兵なり金千圓を提供すべしとて遂に現金四十四圓外衣類雜品三十餘點（百五十八圓）を強奪したる強盜事件は此程京城地方法院にて何れも懲役十年の處分となれり

秋の文展（四）　題未定＝滿谷國四郎畫

●危い所を發覺

二十四日午前四時二十分頃老惡せる一人の鮮人附添と覺しき二十五六歲の壯者と共に南大門停車場に來り木浦行の汽車に乘らんとせしも乘換驛たる大田行きの時間迄には猶二十分許りあり其の中件の壯者は老人より入場券料と老人の汽車賃として金五圓を取りたるが一方豫てより此の壯者の擧動の不審なるに目を着けゐたる驛夫李與福は此奴詐欺者に相違なしと早速臨檢の巡査に密告し巡査出張取調べたるに果して此の壯者は途中より老人に附添ひ來り老人の汽車賃を捲き上げんとせしものと判明し警察に引致されたるが壯者は原籍大邱南星町居住所不定南箕學（二六）又老人は全南道海南郡黃面朴成基（七九）なる者也と

コレラ彙報

▲防疫應援隊 仁川を初め京畿道管內には虎疫蔓延の兆あり防疫係員手不足なるより春川、清州、公州、海州、鏡城、平壤、義州等の憲兵隊より憲兵五十九名應援のため廿二日より廿四日迄に全部入京する筈

▲蔚山二十名 慶南蔚山居住の平野英吉、山村良造、李花弼、鄭準達吉、横山孫一、高橋精一、福島留吉、野網龜吉の八名の內平野を除きたる他の者は出漁中發病し內二名は死亡せり二十二日迄に於ける同地の患者は總計二十名に達せり

▲全南 全南麗水の漁夫木內政七（二九）は二十二日午後疑似と判明同夜死亡又漁夫水山德松は眞症と決定す

▲慶南 慶南鎮海面登島に於て鰤漁船乘組員中內地人一名、鮮人一名二十一日發病何れも眞正と決定す馬山昌原郡龜山面南端にて鰤漁業に從事せる影本增太郎の雇漁夫鮮人二名二十三日疑似と決定一名は死亡す

平壤名產 玄武栗賣出 ▲旭町一 玄武堂

▲冷飯から 京畿道金浦郡陽東面下谷里柳南仁（六三）は十八日富川郡蛇川場市場にて冷飯を食し歸宅後二十一日發病吐瀉をなし同日午後三時死亡又同面縣谷里金致根（三三）も病狀疑はしきを以て何れも金浦署より本府へ…疑似患者と確定せり

▲仁川有志相談會 久水仁川府尹は二十四日日曜日にも拘らず登廳し村谷、田中、高杉、平山、加來、淺、高木、美濃谷、吉金氏外數名の參集を求め午後一時より府廳樓上に於て虎疫豫防方法及び救助費に關する相談會を開きたるが參會者は何れも救助費寄附に就いて率先盡力すべき旨快諾したり

▲仁川百八十六名 仁川に於ける虎列拉患者は二十四日午後二時迄に百八十六名に達したるが罹病者中內地人は萬石町德永ふじ外里町齋藤泰五郎同ゆき同新太郎川西たか同隆稗花町住本玉治龍岡町綾部勇藏等にして中死亡者は住本玉治にて川西隆稗齋藤新太郎の兩名は何れも保菌者なるも免疫性にて健康上何等異常無き者の如しと

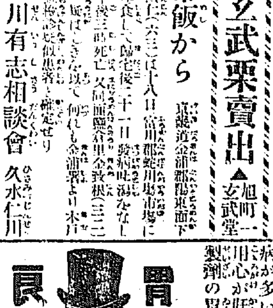
▲船中に虎疫發生 仁川築港石堤外に繫留しありたる京畿道漁業傳習船乘込船夫裵昌善（二五）は二十四日午前十時頃突然吐瀉を催したるを以て水上署より警官及び醫師檢視したる處疑似と決定直ちに隔離病舍に收容したるが虎疫發生以來船中に發生したるは之れを以て嚆矢とすと

市民衞生會議

▲約一箇月間一回も發便を取つて與れないので流石の將に溢れんとす取集人個々近所迄來ても樋に收容し切れないと見てか其儘にかへる此無責任無秩序無管任にして非衞生なる事實は願くは他方面に無からんことを要望すると共に速かに刷新せられんことを祈る（黃金町一丁目附近生）▲秋冷の候となり氷店も追々廢する時節なるも本町通りの氷店には益々盛となり夜の十二時から四時五時頃迄『イラツシヤイ』の夢商し申候如何のものなりや（通行人）▲記者樣よ彼の恐るべき虎疫が朝鮮の此所彼所の港灣に續發するは如何なる系統に因てでせふ只單に梨や水蜜桃か食して突發する筈はありますまいが……ひよつとしたら何時でしたか日本の近海に於ける環流の事を記載してありましたが其の環流なるものに虎疫菌が流されて來て居るのではありますまいかいかがです（不審生）

秋の胃腸
赤痢、コレラの黴菌も強壯なる胃液の鹽酸に逢へば忽ち滅殺せられるから胃を強壯にして置くが何よりの豫防法で之が醫學者の言ふ胃液の殺菌力である、然るに秋は日中暑くして朝夕涼しく氣候の變動甚だしき處へ夏の間に弱りたる胃は胃液の作用も不十分で兎角胃腸病が多いから何をせずとも健胃の用心が肝要で其れには五大軍醫合議製劑の胃活……善は急げ、今直ぐに

胃病良藥



定價（胃活錠）試四、登頭、五十錢、廿錢（胃活）廿五錢、六拾五錢、四拾五錢、拾錢
請賣 全國及海外要所の各藥店にあり
本舖……東京……大阪……山田安民藥房

京日案內
普通 一回前金一行一圓前金一圓名一五錢附無割引 ▼申込後中止若くは中止の節は料金返戻せず

▼古本類拂底大口注文非常高價買受 本町二◎電二五二七◎ウツボヤ書店 165
▲古本と古樂器類は信用できる本町 電二五二七 ウツボヤへ 165
◎本年七月生男子極々健全の子供預けたし希望者は至急御通知を乞ふ 京城本町一丁目三十三 大正社 286
◎習字御手本類は何でも有ります 東京市南神保町九 精華堂法帖店（目錄進呈）265
◎古本熱心高價買入△御報參上 ◎是非御試買を乞 △本町四 電話二七八一番 △書肆群書堂 211
◎貸金 官公吏學校職員等總て月收の方へ秘密信用融通御一報伺上候 花園町八七電車通質商 大和屋 256
古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 163
◎店員入用 十六歲以上支店得意廻り確實なる保證人を要す ▲蓬萊町電一〇六七 ▲三巴酒造場 284
◎古本 交換 預り 買受 御報參上 京城明治町 野村書店 電二六三六 281
◎ひげ一せんざいは天下一品 一の家 旭町一丁目の出湯隣 一の家 279
◎貸家 黃金町三の三〇二黃金湯前階日本建にて官吏好適瓦斯水道設備 家賃拾五圓 電九八九大島 278
◎松汀里光州間自働車は七月凡ての列車に聯絡す ▲光州加藤自働車運輸部 田木浦間
◎產婆看護婦及見習生數名採用す 希望者は直接來談あれ 旭町一丁目 中央婦人病院 255
◎店員入用 年齡十八歲以上御得意廻り本人來談保證人を要す 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 264

外交員入用 二十五歲以上 市內確實なる要保證人 本町二丁目 電二四五三 吉田洋服店 285
店員入用 年齡十五六歲より廿一二歲迄 但し市內に確實なる保證人を要す 京城本町一丁目 ますや吳服店 259

恩給 年金 即時現金 立替 無期限 月利一步二厘五毛 京城南大門外（舊御成町）山口屋 168
病人用 輸送車 新著任候補 式 京城總督府醫院前 電話一五八〇番 總督府醫院御用 山口組
◎ほねつぎうちみくじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 179
京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 ◎京城發前九時 ◎春川發前七時半 京城水標橋通り 電話貳壹參八番 京春自働車商會 支配人 松田善男 202
魔法瓶中瓶取替 銅線 織 柳製專賣艶 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 206
藥學講習生募集 夜間 九月三十日迄に申込まるべし 規則は市內各藥店に配附せり 黃金町三梅崎政雄方 藥學講習所 209
最早ストーブの時期が參りました早くメツキ修繕に御送り下さい 京城明治町 電話二七一一 江草電鍍工場 242
有給社員募集 保險 名 要す 希望者は履歷書携帶來談あれ シンガーミシン會社 276
高級外勤員採用 但內地人 共保 生命保險 京城出張所 ▲京城黃金町二丁目 283
看護婦及見習看護婦女學生各數名至急入用 希望者は履歷書持參來談あれ但し京仁間に保證人を要す 仁川高木病院 272
京城春川間 每日午前八時出發 乘合自働車 賃金片道四圓 一南大門通一丁目 電話二一九番 京春 廣橋自働車 主務 金正植 196
京城府太平通（朝鮮公論社左木路）電話一三四四番 礦物定量分析 坂元分析所 252

新刊圖書御案內
書名	著者	定價
國表之口傳	吉田菊子	五〇
數學敎科書史	林鶴一	一、五〇
大正青年と修養	足立栗園	六〇
實業立身傳	永田芳洲	五〇
家庭看病法	大槻和子	八〇
一喝禪	中原鄧州	九〇
ユーモア十篇	佐々木邦	八〇
禪の手引	笛岡清泉	六五
註解佛蘭西語文典	折竹錫	五〇
強い身體を造る法	川合奎充	一、七〇
萬有之神秘	栗原古城	一、二〇
ソオードの社會學	藤森達三	一、五〇
女學校の裏面	鐵花山人	五〇
布哇富豪必勝法	瓶金準一	一、〇〇
朝鮮語學捷徑	佐藤錄堂	五〇
新舍工場法の運用	岡文館	七五
戰爭と國際法	立作太郎	三、五〇

京城本町二 電話一二六番 振替京城四五四番 嚴松堂書店

花柳病 外科專門
◎梅毒 ◎淋病 ◎泌尿生殖 ◎睪丸 ◎痔病 ◎皮膚病 ◎六〇六注射 ◎肛門病 ◎神經衰弱 ◎包皮其他手術 ◎診察無料 ◎入院留時
京城南大門通（商工銀行裏）司生堂醫院

女鳩 渡邊默禪

「二一四」何處へ

呼ばれた鳩子は悸乎したやうに、「はい」と顔を擧げたが、瞼に一杯になつてゐた涙を見られまいとして、急いで手巾を眼に持つていつた。

「ちよつと屋外へお出くださいませんか。少しお話があるんです」

大野はやはり忍び聲であつた。鳩子は默つて頷いた。そして大野の姿が窓から消ゐるのを待つて、静かに手紙を巻收めて寫眞と一緒に衣兜に入れて、蠟燭の火を吹熄して立つたその時足に痺が切れてゐるのを始めて氣がついた。

帽子と黒狐の小外套とをとつて、そつと父や生駒の居る背後の方を通り抜けて、小屋の戸口へ出て見ると大野は庇の下に立つて待つてゐた。

「なアに、大野さん」

「いや、貴女へ秘密にお目に懸けたい物が有るので、お呼出し申したんです。一時間ばかり御外出を願はれますか」

「何處へか行くんですか」

「はい、少し遠いですよ。今日熊を獲つた彼の懸崖下ですが……」

「大變ねえ、今夜でなくちや不可ないの」躊躇ふやうな氣色で「なアに？一體、大野さん」

「お目に懸ける物ですか。その本態はわざと説明しない方が興味が深いでせう。兎に角行つて御覧なさい。をやと喫驚なさるやうな素敵に異らしい品なんですから……まア鳩の卵くらゐある金剛石か、百磅もある金塊だと思へば間違はありません。アハヽヽ」

「嘘う」

鳩子にはこの謎のやうな詞が分らなかつた。假令それは何であらうと夜宵中若い男と連立つて、そんな場所へ行くといふことは如何であらうかといふ懸念もあり、又た住江の手紙について篤と思案をして見ねばならぬ矢先、實は迷惑でないでもなかつたので、餘程拒絶らうかと思つたけれども、爾うしたならば大野の感情を傷けはせまいか。恁うして殊更に私を呼出して、夜間に人氣のない谷底へ連れて行かうとするくらゐであるから、大野の方にも特別の理由と必要とがなければならぬ。備しや此前から心配してくれてゐた彼の事件について、内々の相談があるのではあるまいか。それならば幾らでも此邊に談話の機密をたもてるだけの場所があるのに。と疑ひ懸いて少頃考へてゐた。

「お孃さん。安心して入らつしやいまし。先方へお出になつて見て、始めて成程と了解ができるんですから。僕のために割いて下さる一二時間が僕の利益といふよりは寧ろ貴女にとつて大なる利益を齎らす祝福の時なんです。もし僕一人で不安心だと思召すなら、卯太郎でも連れて行きませうか。併し出來得るならば、一切他人の耳目に觸れさせたくないですがなア」

「いゝえ、不安心だといふ譯ぢやないんです。只お父様にお許しをうけてから出たいんですが……出た後で又た御心配をなさいますと不可ませんから」

「いや、それは不可ません。公然お父さまにも秘してお出ください。僕から後で詳しいことをお話しますし、又たその責任も負ひます。實はその心算でしたから、備しも貴女がお見ゐにならんのでお騒ぎなすつた場合にお父様に御安心をさせ申すだけの手配もして置きました。その事は卯太郎が心得て居ますから大丈夫です」

「爾う、ぢやあ參りませう」

周到に注意が行届いてあるらしかつた。で鳩子は凡ての懸念から離れて、心安く出かけることが能きた。

大野はちやんと準備してあつたと見えて小屋の外から雪沓を持つて來て鳩子に穿かせた。そして自分はマントと鳥打帽を著けて、護身の銃を荷つた、次に二三本の松明を小腋にかゝへて、途中から火を燃し始めた。二人は何處へ。

皮徽科 皮膚病 徽毒病 痲病 膀胱病 生殖器 機能障碍 入院隨意（診察夜九時迄） 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目（元二丁目） 佐藤醫院（電話一一七三番）

虎疫豫防注射に應ず（一回卅錢） 文部省傳染病研究所製造 朝鮮總督府醫院製造 旭町一丁目 島崎醫院

秋晴行（下） 披柳

不壞

秋風の人々の首の垢

大同江畔

小牛連るゝ土堤の蓼踏む

殘暑の顔へほろ雨のする

汗を忘れたる散る柳なり

お牧の茶屋

鷄頭播く犬の子まつわりぬ

乙密台

もみづる草にべつたり尻敷く

停車場前の宿の限りなくあはたゞし

長夜のはかなさくさ書き重ね

龍山百花園散步

水荷ぎこぼれたる秋蝶白し

鎭南浦驛前

ガラ石踏む蜻蛉逃げうとせぬ

船で歸りたき願ひな父果さず

山切り埋む水の声なる

夜半平壤發鎭南浦宅車中

秋晴れの海見たるのみ

寝足らぬ顔の蕎麥のしゅめ

新刊紹介

▲新文章講話（五十嵐力著） 緒論及文章基礎論、文章修飾論、文章組織論、文章精神論、文章の種類及び文體、文章に關する思想の變遷、國文沿革の概要、文章の品及び結論の八篇より成り各編を更に數章又は數十章に分ち格式、新式、修辭、技巧、趣味、様式、思想、用語、其の他各文體の解剖より日本文學の特色、沿革等に至る迄凡そ文章の研究に必要なる事項は細大漏さず悉く之を網羅し且廣く幾多好適の事例文章を引證して理解應用に便したり。行文頗る平明所説懇篤を極む此種著書中稀に見るの好著にして縮刷第七版を重ぬ（一圓二十錢東京市牛込區早稲田大學出版部）

▲日記及び消息（増補縮刷偕全第六巻） 緒言中の要に曰く少年時の日記『光陰誌行』と舊刊樗牛全集第五巻に收めたる消息全部に實父齋藤氏未亡人杉氏叔父太田氏及び親友知己の手に在りて未だ世に知られざりしもの百餘通を加へ更に前巻印刷後發見したる『准之郎の悲哀』『脱漏』『獨不見』『後室』『西畫解題』の四編を追補したり『光陰誌行』は明治十八年福島中學時代の日錄にして『消息』は明治十九年十六歳の頃に始まり其三十二歳臨終に至るまでを網羅す』と少年時代を脱して青年時代に入る樗牛の情趣感想全紙に躍如す（二圓五十錢東京市日本橋區本町三博文館）

▲法藏（南無阿彌陀佛號） 三百號紀念增刊にして南無阿彌陀佛の語義、念義、諸經に顯はれたる南無阿彌陀佛、觀經、譬喩其他諸名僧と南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛と人生、道德、家庭、戀愛、病苦、文學、哲學、心理、法律等宗教界に於ける數十名家の論説を集めたり（本號に限り三十錢京都市東六條珠屋町島丸東入る法藏館）

▲青年雄辯（創刊號） 田川參政官の自信心依頼心、三宅博士の信念と辭、大隈侯の學問の路に心せよ、鎌田慶大學長の敎育上より見たる雄辯、天野早大學長のセツトスピーチを勸む等の外先輩より見たる現在青年の辯論として松波、田中兩博士林、通水、大場の各校辯論部長及び尾崎法相の深刻なる批評あり其他與謝野晶子、金子早大文科長、坪内士行諸氏の文藝に關する幾多の記事あり内容充實趣味豐富好誌たるを失はず（二十錢東京赤坂區新町四の七共社）

▲新少年（飛行機號） 少年小説には少年飛行家、山賊退治、四つの扉あり講談落語には天狗昇飛切、酒の眞砂、七里の渡しあり其他堅實文の蒐集、ポンチ繪等あり面白し（十二錢東京市神田區錦町三の六年和出版社）

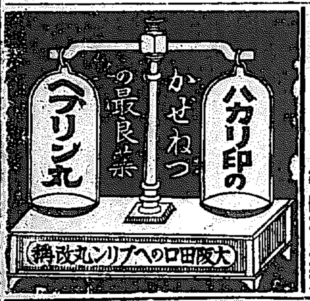
▲通俗産業講話（第二輯） 大工原農學博士外九専門家の執筆に成り記事には産業組合の話、土壌と肥料の話、馬齢鑿の作り方、鶏の飼ひ方等を收む（十二錢東京市麴町區飯田町二の五二帝國産業軍人會本部）

南米倉町朝市場通仁濟病院跡 内科小兒科 花柳病外科 入院隨意 上野醫院 電話一九三四番

わきが にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は ファーザーを御用ひあれ 藥價卅錢六十錢一圓 京城黄金町三 電話二九四九 山田文殊堂藥房 説明書は往復葉書にて申込次第進呈

十二指腸蟲病 大邱府東城町 電話四六三番 水田藥院

質 京城黄金町二丁目 永樂町（停留所北入） 堀佐營業所（電話六三九番）



髪をしなやかに丈長がく 美しく房々と 黑く漆のやうに くするは 廣い世界に「タッター つ」 パール煉香油があるばかり ……とは…… パール愛用者がおつしやる賞話であります 本舗 東京 平尾銑也商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

ばい毒素人治療 ハガキに病名を記し申込め 内容書秘密封呈 無代送呈 化學上の新智識を簡易の内服藥に應用せしものにして苦痛を去り、費用を省き、迅速に自宅に於て安全經濟に其奏効偉大なる簡便家庭新自療法なり。■淋病患者は其病名を記し申込め最善の治療法を報導す。 東京市本所向島小梅町 東京藥化學研究所

▲最も進歩せる家庭常備藥 恐るべきコレラ赤痢の流行季 家庭藥の御用意は刻下の急務 京城南大門外停車場前 ドラッグ商會家庭藥部 電話二五六七 振替京城四六七 本部 大阪 合資會社 ドラッグ商會

新田帯革 帯革各種 バッキング ピッカー 生皮備車 緩革組金具 其他工業用諸革 品質保證在庫豐富 朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目 定價表御一報次第送呈

鐵鋼 船具 木材 セメント 鎭南浦三和町 合資會社 中村組商業部 電話一一六番

◎眼鏡新荷著廣告 米國製 正金張 三種 獨平 凸凹 玉サツク付 甲 三圓五十錢 乙 三圓 丙 二圓五十錢 純ニツケル 一種 逸品 凹凸 一圓二十錢 ●地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候 但し前金に限り送費無料 京城本町一丁目（郵便局前） 中村時計店眼鏡部 電話一一七番 振替口座京城三四六番

優等 品質卓絶中味豐富 清酒 金露 攝津灘魚崎 釀造元 大塚釀造所 各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候 京城南大門通三丁目 發賣元 大塚京城支店 電話四〇二番 振替口座五七〇番

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二七二九番 一三九〇番

故春子儀葬送の節は遠路且又雨中にも拘らず御會葬被下候段有難く奉謝候泥雜中御芳名伺ひ洩れも有之可と存候間略儀乍ら紙上を以て御禮申上候

大正五年九月廿四日

夫 藤原龜太郎

親族總代 藤原久滿吉

友人總代 安達茂藏 角屋謹一 白紙豐次

百花の精を集めたる香水の素 オリヂナル 宮内省御買上 いろ〱試して見たが一番よい香水はやはり原料香水 ●御注意● 御料香水オリヂナルは恐く偽物である御求めの際は安藤井筒堂の名義なき品に御注意を乞ふ ●小瓶三十錢 ●中瓶六十錢 ●大瓶一圓 ●同小二四十錢 ●懐中 一圓廿錢 カオール本舗 東京 安藤井筒堂 關西總代理店 大阪 藤森源之助

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆

高砂丸 十月十九日 正午出帆

三河丸 九月廿八日 正午出帆

仁川海岸町 電話十二番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪直行

君が代丸 十月三日 後四時出帆

大有丸 十月四日 後四時出帆

神代丸 九月卅日 後四時出帆

秀吉丸 九月三十日 後四時出帆

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番 二二三二番 京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店（電話長一七〇二）

○全羅丸 十月九日 ○京畿丸 九月廿九日 ○黄海丸 十月三日 ○成鏡丸 十月十三日 門司より釜山各港寄港雄基間航路 釜山發

○穩城丸 十月一日 ○昌平丸 九月廿八日 ○鏡城丸 十月四日 元山より各港經由雄基行 元山發

○忠清丸 十月二日 ○平壤丸 九月廿七日 城津清津雄基行復航釜山より門司又は長崎行 元山發

○永興丸 毎月廿八回 北久味、五里浦行 元山發

○蠶徳丸 十月 日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港 釜山發

○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 長生浦方魚津浦項 釜山發

○三浦丸 十月六日 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 釜山發

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 各港經由麗水行（三日目一回永浦行） 釜山發

○順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 木浦發

○慶興丸 十月四日 各港經由濟州島行西廻 木浦發

○慶興丸 十月二日 南多島海列島行 月三回 木浦發

○公州丸 九月 日 各港經由濟州島行東廻 木浦發

○宗信丸 十月三日 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 仁川發

○江原丸 九月廿五日 青島、大連、芝罘行 仁川發

○麗水丸 ○晉州丸 十月二日 九月廿七日 各港經由木浦行 仁川發

○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 江華島、岡島、海州行 仁川發

大阪商船仁川出帆

○外航所属航路は仁川港外臨時の時は五分前を以て通路切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 須磨丸 十月四日 東京丸 十月一日 安藝丸 九月 日 後五時出

××群山、釜山、鎭南浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 信濃川丸 十月二日 後二時出

△×群山、釜山、横濱行 福州丸 九月廿七日 湖州丸 十月九日 後二時出

×○木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 濟州丸 九月廿七日 後二時出

○×鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 信濃川丸 十月十五日 後二時出

△△○大連直行 福州丸 湖州丸 九月 日 十月三日 正午出帆

×○鎭南浦行 天智丸 九月 日 正午出帆

▲○滿洲、浦潮行（元山出帆） 印一城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 十月十六日 宮島丸 十月十二日 後二時出

○△上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 九月 日 湖北丸 十月十一日 後四時出 前六時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ●御乗船客は本船出帆約一時間前迄に御乗船相成度 ●×印は一等各御預り手荷物は船客監り

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番五五番 内國通運會社支店 電話七〇八番 ●中央四國沿岸各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

▲鴨綠江材市況 …二千七百二十二連 五月同月中の輸移… 木商持荷三十七萬六千七百二十二連に垂んとし前途稍少なくも三四百の入荷を豫想し居れ… し事なり船賃及び天候天井向け入荷上… 一寸の用材は…一尺ノ當り板… 身に覺ねなき事とて大に驚き事の起…木より同人を相手取り私印盜用私書… 三和町…

▲警文 暴風雨の恐あり ▲低氣壓… 支那東海北部 ▲低氣壓不確 …